

令和7年度 デジタル田園都市国家構想交付金TYPES
＜保活ワンストップの実現＞
実施報告書

令和8年3月

東京都デジタルサービス局・一般財団法人GovTech東京

目次

INDEX

1. 事業概要
2. 実施概要
3. 各活動の実績
4. 運用状況
5. 効果測定
6. 事業運営を通じての課題と対応及び
全国展開にあたっての課題と提言

1

事業概要

保活ワンストッププロジェクトとは

保育園探しから見学予約・入園申請といった”保活”に関する手続きを、ワンストップで実現することで、保護者や保育施設等の負担軽減を目指すプロジェクトである

< 保活に関する手続き >



▲ 「シン・トセイ4 都政の構造改革QOSアップグレード戦略 version up 2024」より抜粋

※R6年度の取組

「保育園に関する情報収集」・「見学予約」・「入園申請」の一連の手続きを、保護者のスマートフォンなどでワンストップで完結できるようにすることで、保活ワンストップを実現

■ R7年度の取組

- ① 保活ワンストップに取り組む自治体や保育施設を拡大することで、ユーザーを増やす

< 具体的な施策 >

1. 連携自治体/参加保育施設の拡大

自治体数：3自治体→19自治体へ増

参加保育施設数：123園→1,276園へ増

- ② 連携基盤等の機能拡充や機能改善により、保護者や保育施設の保活に関する負担軽減や利便性向上等につなげる

< 具体的な施策 >

2. 機能改善

見学予約の自動承認

受付/キャンセル期限

データ項目の拡充

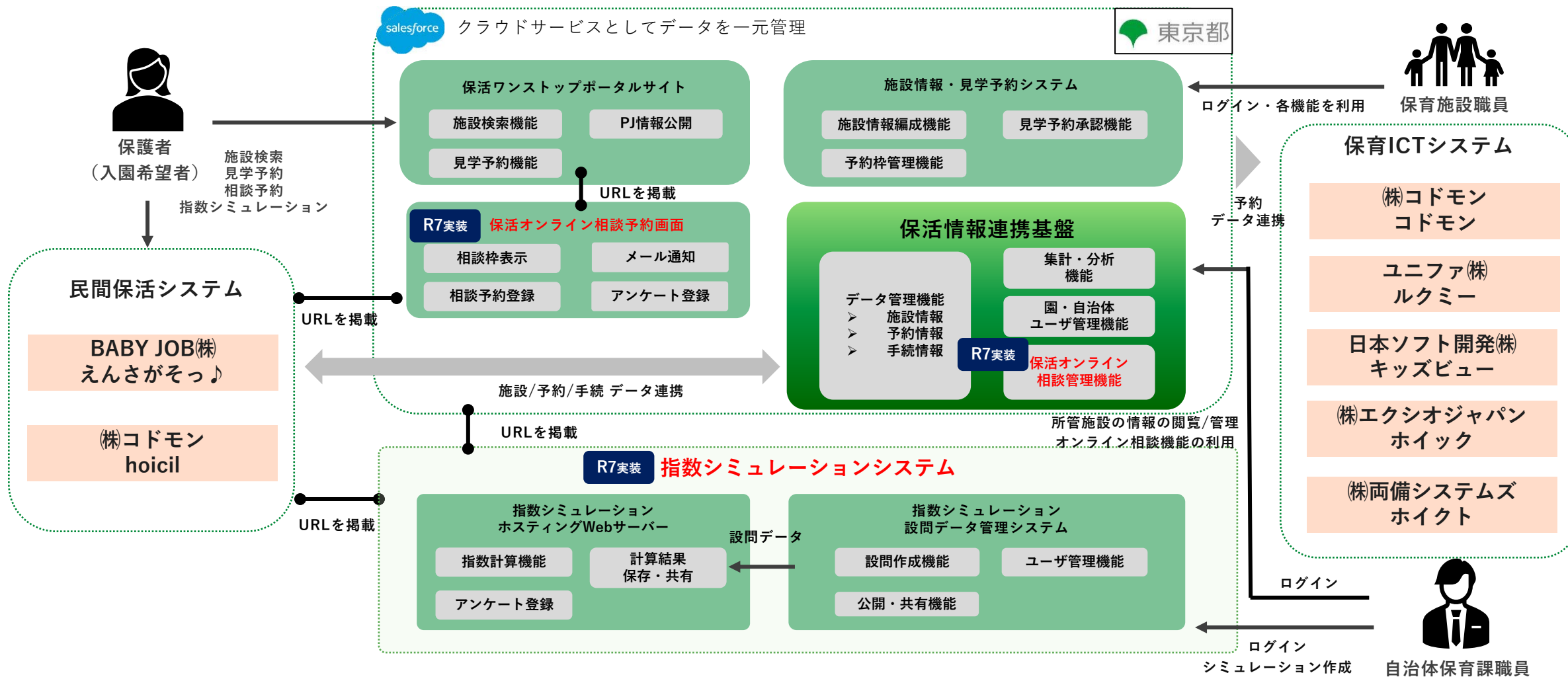
3. 新規機能拡充

保活オンライン相談

指数シミュレーション

システム概要

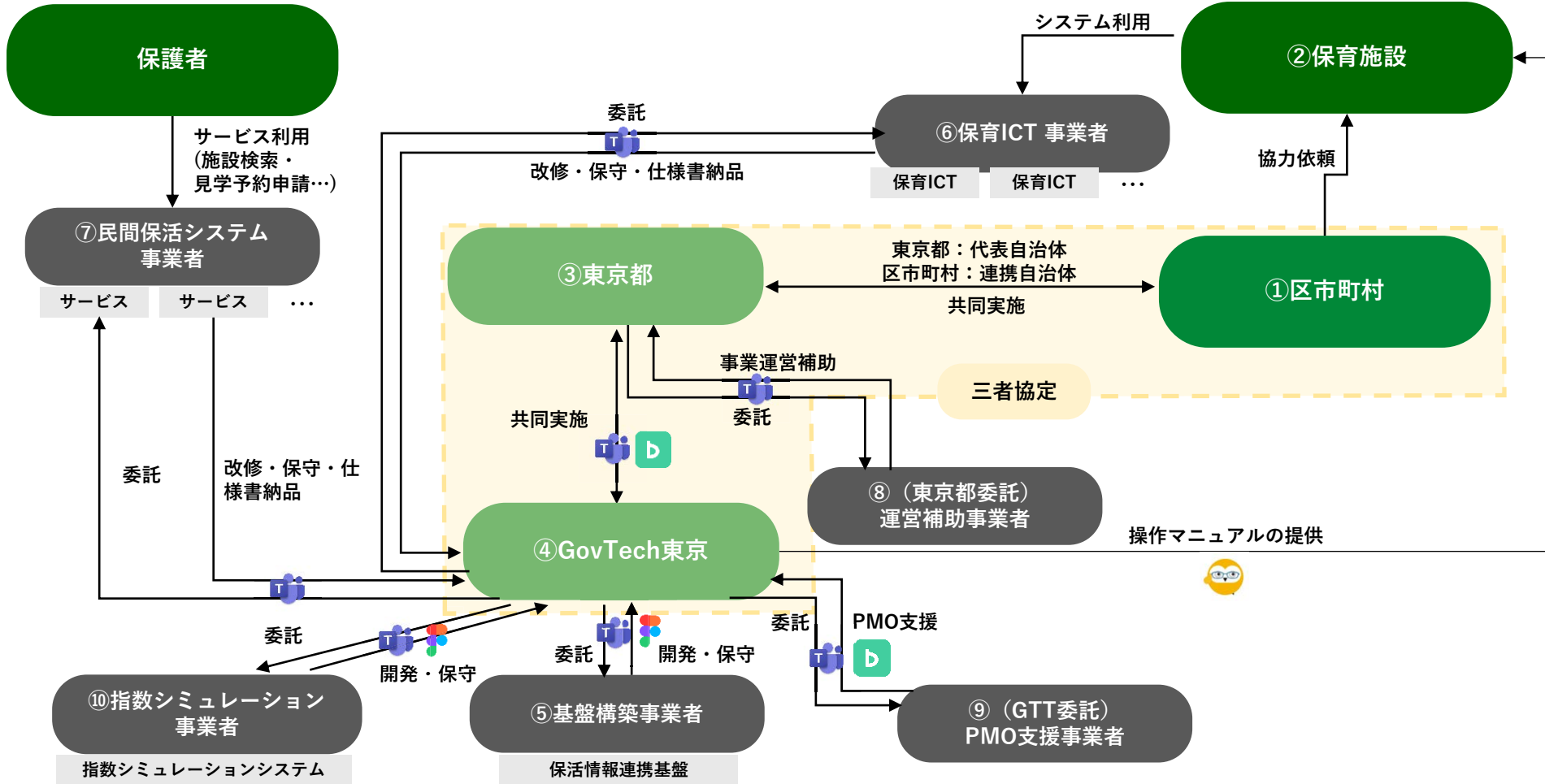
令和6年度に構築した保活情報連携基盤で機能改善を実施するとともに、保活オンライン相談機能を追加実装した
また、指数シミュレーションシステムを新規実装し、サービスを提供した



事業推進体制

プロジェクト体制図

保活ワンストップPJでは、東京都、GovTech東京、区市町村、保育施設のほか、多様な民間企業とともに取組を推進し、次ページの役割に沿って区市町村、東京都、GovTech東京は三者協定を締結し、連携して事業を実施した



主なコミュニケーションツール

ツール名	使用方法
 Microsoft Teams	都、GTT及び各事業者間の連絡に使用
 Backlog	都、GTT及びPMO支援事業者間のタスク管理に使用
 Figma	GTTと基盤構築事業者や指数構築事業者とのデザイン調整に使用
 TeachMe Biz	保育施設等における基盤のマニュアルの提供等に使用

事業推進体制

主な役割分担

関係者	事業主体との関係	主な役割
① 区市町村	TYPES申請の連携自治体	基盤へ集約する保活関連情報及び保育施設情報の提供・確認・承認、保育施設との調整、各システムの構築・改修・運用への協力並びに効果検証への協力
② 保育施設	区市町村と協力	保活情報連携基盤への施設情報の登録・更新、見学予約枠の登録、見学予約申請への対応、システム外予約の登録、効果検証への協力
③ 東京都	事業主体 TYPES申請の代表自治体	保活ワンストッププロジェクトに関する全体統括、予算管理、成果物管理、連携自治体や保育施設への伴走支援、効果検証、関係機関との連絡調整並びに会議体の運営
④ GovTech東京	事業主体 事業委託者	基盤及び保育ICTシステム・民間保活システムの改修・運用・動作検証に係るプロジェクトマネジメント（委託事業者管理を含む。）、委託事業者管理並びに技術的な相談対応等
⑤ 保活情報連携基盤事業者	GovTech東京と委託契約	保活情報連携基盤の改修、運用保守
⑥ 保育ICT事業者	GovTech東京と委託契約	システム改修（保活ワンストップに必要な各種機能の実装）、運用保守
⑦ 民間保活システム事業者	GovTech東京と委託契約	システム改修（保活ワンストップに必要な各種機能の実装）、運用保守
⑧ 運営補助事業者	東京都と委託契約	運営会議や保育施設向け説明会等の会議体運営補助、事務局の運営、広報、効果測定及び分析の補助
⑨ PMO支援事業者	GovTech東京と委託契約	システム関係会議体運営支援、コールセンター運営、プロジェクトマネジメントの支援
⑩ 指数シミュレーション事業者	GovTech東京と委託契約	指数シミュレーション機能の構築（保活ワンストップの新機能の実装）、運用保守

2

実施概要

参加自治体・保育施設拡大の概要

参加自治体を募集するにあたり、説明会や事前相談を実施し、参画にあたってのサポートを実施したほか、参画意向のある自治体の要望等に応じて、プロジェクトの参画要件の緩和も行った

追加参画の流れ

令和6年11月	区市町村向け説明会の開催、自治体との事前相談を実施
12月	区市町村参加意向確認、参加予定自治体数と保育施設数の確定
令和7年1月	連携自治体内定通知
4月	連携自治体参画決定正式通知、東京都・GTT・自治体の三者協定締結

- ・ 区市町村向け説明会ではプロジェクトの参画要件の緩和（下表参照）を説明するとともに、システム操作を体験できる環境を提供するなど、更なる参画を促した
- ・ その後の事前相談では、参加する上での懸念事項等の解消に向けて協議し、自治体の不安払拭に努めた

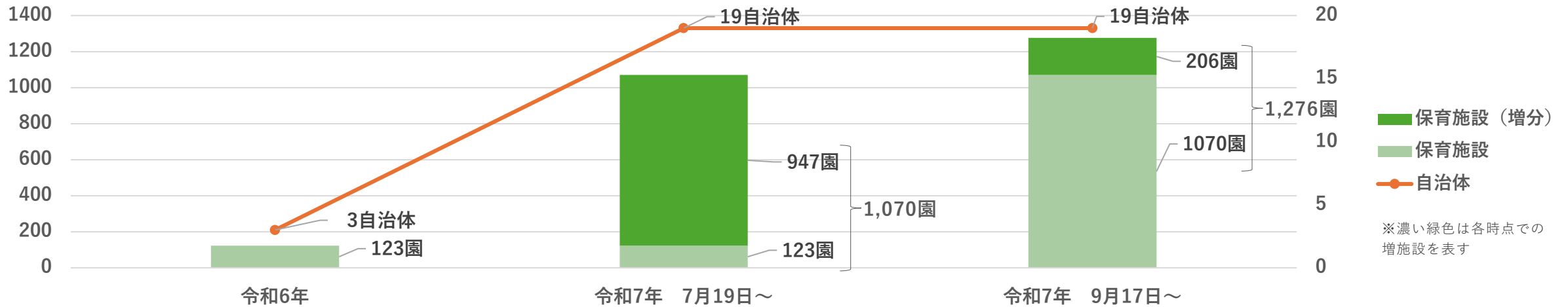
プロジェクトの参画要件緩和

令和6年度TYPES要件	令和7年度都要件	変更方針
<参画保育施設> 30施設以上で公営・私営を含む ※対象：認可保育所、認定こども園、地域型保育事業	<参画保育施設> 公営・私営を含む ※対象：認可保育所、認定こども園、地域型保育事業	参画保育施設数の要件を撤廃
30施設に満たない場合、オンライン見学予約などの先進的な取組を実施済み	—	参画保育施設数の要件撤廃に伴い、削除
<参画保育施設> 保育ICT導入済み	<参画保育施設> 原則、保育ICT導入済み。ただし、希望があれば、未導入の保育施設や自社システムでも参画可	自治体内の保育施設のカバレッジ（カバー率）向上を目的に緩和
<自治体> 電子申請システムの導入実績が半年以上	<自治体> 令和8年4月入所申請が開始されるまでに電子申請システムが導入済み	導入済みとなれば、ワンストップが実現するため、導入実績は撤廃

参加自治体・参加保育施設の一覧

先行3自治体に加え、16自治体から追加で参加の希望があり、計19自治体となった
また、保育施設は123園に加え、1,153園から追加で参加の希望があり、計1,276園に拡大した

参加状況



参加保育施設数

自治体	公立	私立	合計
港区	23	65	88
江東区	44	123	167
渋谷区	19	15	34
杉並区	29	81	110
板橋区	34	116	150
足立区	31	47	78
江戸川区	34	131	165
八王子市	16	80	96
青梅市	0	23	23
昭島市	0	29	29

自治体	公立	私立	合計
調布市	8	56	64
町田市	5	73	78
日野市	9	34	43
狛江市	4	14	18
東大和市	1	24	25
清瀬市	2	12	14
武蔵村山市	0	15	15
多摩市	1	21	22
西東京市	12	45	57

※対象の保育施設は別紙「保活ワンストップサービス対象保育施設一覧.pdf」を参照

機能改善について①【見学予約申請の自動承認設定】

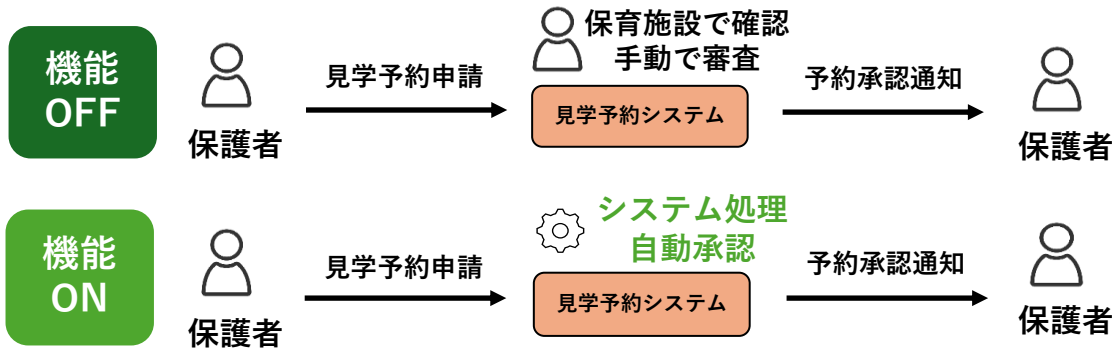
保育施設職員の予約審査に関する負担軽減を図るとともに、スムーズな予約の確定が行えるよう、保護者からの見学予約申請を、空き枠状況を確認して自動で承認する機能を追加した

■期待される効果

- ・ 手動での予約審査や承認に伴う保育施設職員の作業負担を軽減する
- ・ 保育施設での承認待ち時間を短縮することで予約を早期に確定させ、保護者が安心して予定を組めるようになる

■機能概要

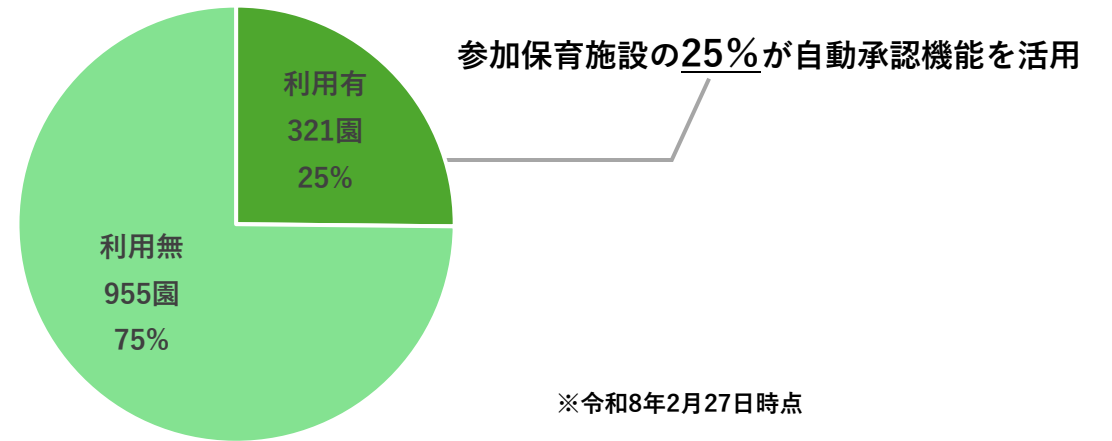
①保活情報連携基盤（見学予約システム）



②関連システム

民間保活	・ 変更なし
保育ICT	・ 自動承認フラグを取得し、自動承認の有無を加味した予約のステータスを保育ICT上で通知するように変更

■自動承認機能利用施設割合



- ・ 参加保育施設の25%が自動承認機能を活用する一方で、75%は当該機能を使用していない
 - ・ 参加保育施設へ当該機能の満足度と選択した満足度の理由、および当該機能を利用しなかった理由についてアンケート調査を実施した
- ※P16「機能改善に関する保育施設のアンケート結果」Q1、Q2参照

機能改善について②【見学予約申請の受付期限設定】

保育施設と保護者の双方が安心して見学を実施することができるよう、
保護者からの見学予約申請を受け付ける期限をあらかじめ設定できる機能を追加した

■期待される効果

- ・直前の予約申請による見逃しリスクを解消し、確実に見学対応ができる体制を整える
- ・見学予約者を事前に確定させることで、保育施設側が十分な準備（資料・人員・導線確保）を行えるようにする

■機能概要

①保活情報連携基盤（見学予約システム）

日	月	火	水	木	金	土
					1日	2日
【見学日時の48時間前に予約を締め切る場合】						
見学日時：8/8(金) 10:00						
予約締切：8/6(水) 10:00						
				見学予約できる期間		
3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
			見学予約の締切日時	見学予約できない期間		保育施設 見学日時

②関連システム

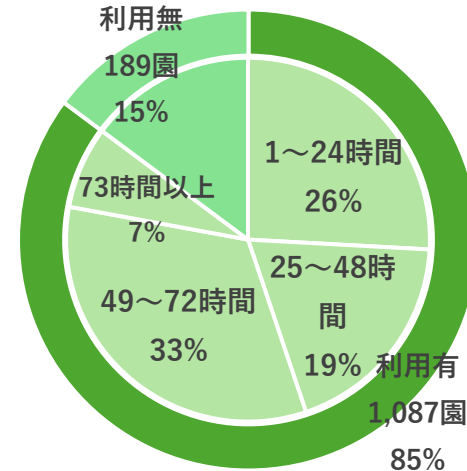
民間保活

- ・施設が設定した受付期限を過ぎた予約枠については、サイト上から非表示にする

保育ICT

- ・変更なし

■受付期限機能利用施設割合



参加保育施設の85%が受付期限機能を活用

※令和8年2月27日時点

- ・参加保育施設の85%が受付期限機能を活用する一方で、15%は当該機能を使用していない
 - ・参加保育施設へ当該機能の満足度と選択した満足度の理由、および当該機能を利用しなかった理由についてアンケート調査を実施した
- ※ P16 「機能改善に関する保育施設のアンケート結果」 Q3、Q4参照

機能改善について③【見学予約のキャンセル受付期限設定】

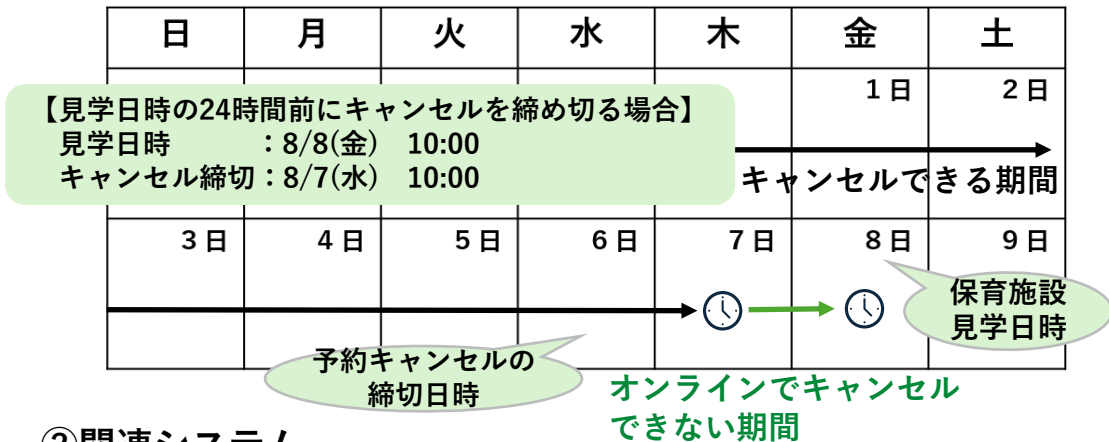
保護者によるシステム上での直前キャンセルを防止できるよう、
保護者からのキャンセルを受け付ける期限をあらかじめ設定できる機能を追加した

■期待される効果

- ・直前のキャンセル（24時間前が約39%、1時間前が約10%）が多く、保育施設側が予約キャンセルに気づきにくい状況を改善
- ・キャンセル期限が過ぎた場合は保護者から保育施設に直接連絡することで、保育施設側が確実に把握できるようにする

■機能概要

①保活情報連携基盤（見学予約申請のキャンセル受付期限設定）



②関連システム

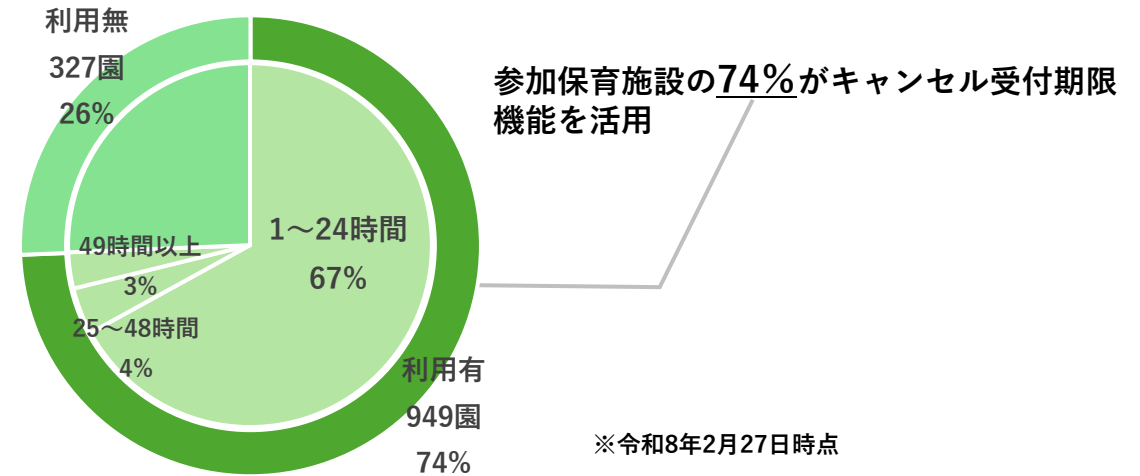
民間保活

- ・予約承認時に送信されるメール本文にキャンセル受付期限を明記（各システムにて画面にも表示）

保育ICT

- ・変更なし

■キャンセル受付期限機能利用施設割合



- ・参加保育施設の74%がキャンセル受付期限機能を活用する一方で、26%は当該機能を使用していない
 - ・参加保育施設へ当該機能の満足度と選択した満足度の理由、および当該機能を利用しなかった理由についてアンケート調査を実施した
- ※ P16 「機能改善に関する保育施設のアンケート結果」 Q5、Q6参照

機能改善について④【データ項目の拡充】

保護者や保育施設へのアンケート等により、拡充の要望があった施設情報や保活関連手続き情報について、関連データの取得に向けた項目の拡充を行った

■期待される効果

- 保護者が求める情報や保育施設が保護者へ周知したい情報を施設情報の項目に追加することで、保護者・保育施設の双方にとって、より充実した情報発信が可能となる

■機能概要

- 保活情報連携基盤、および民間保活システムにおける「施設/手続き情報検索APIv2」に以下データ項目を追加
- 民間保活システムの施設情報にて各項目を表示

施設情報（基本情報）

分類	保活情報連携基盤 項目名	民間保活
職員数	家庭的保育者又は家庭的保育補助者_従業者数_常勤	表示
	家庭的保育者又は家庭的保育補助者_従業者数_非常勤	表示

施設情報（付加情報）

分類	保活情報連携基盤 項目名	民間保活
保育園の周辺環境	保育園の周辺環境	表示
通園時の持ち物	通園時の持ち物	表示

保活関連手続き情報

分類	保活情報連携基盤 項目名	民間保活
入所最低指数表示	入所最低指数表示一覧URL	表示
	入所最低指数表示一覧表示名	表示
保育施設空き状況	保育施設空き状況一覧URL	表示
	保育施設空き状況一覧（4月入所）URL	表示

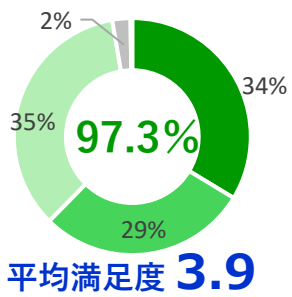
機能改善に関する保育施設のアンケート結果

「見学予約申請の自動承認」、「見学予約申請の受付期限」、「見学予約のキャンセル受付期限」の各機能に関する満足度について、保育施設の多くが一定の満足度を示す結果となった

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満

■ 自動承認

Q1 自動承認機能を使用した満足度



- 自動承認を選んだことで、業務が軽減された。
- 自動承認後はメールでお知らせが来るので見落としがなく安心できる。
- 操作が簡単だった。
- 枠数の管理ができて、人数が増え過ぎてしまうことや、こちらからお断りすることがなく便利。

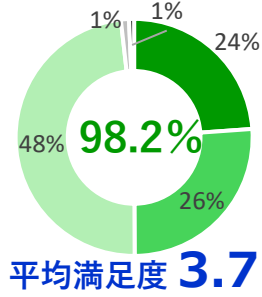
Q2 自動承認機能を使用しない理由

※Q1で自動承認機能「使っていない/分からない」と回答した方

回答	回答数
申請内容を一つずつ確認しながら承認したい (内容を確認しないと不安)	320
保護者からの質問に対して返信することができない (自動返信となってしまふから)	186
手動でも十分に対応できている	88
その他	29
「見学予約申請を自動承認する」機能があることを知らなかった	26
設定方法が分からない	8
合計	657

■ 受付期限

Q3 受付期限機能を使用した満足度



- 受付までの期限があることで、その日以降に確認する必要がない。
- 業務負担の軽減になっている。
- 園の都合に合わせて時間を決められるのでありがたい。
- 期限を設定していることで、突発的な予約が入ることがないため、慌てず業務が行える。
- 電話でスケジュールの調整をしなくて良くなった。

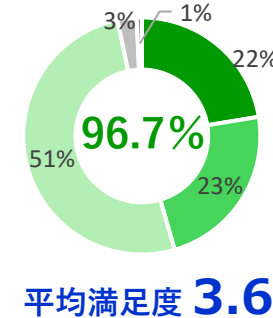
Q4 受付期限機能を使用しない理由

※Q3で受付期限機能「使っていない/分からない」と回答した方

回答	回答数
直前の申請でも対応できる	45
「見学予約の受付期限」を設定できることを知らなかった	21
設定方法が分からない	13
その他	6
合計	85

■ キャンセル受付期限

Q5 キャンセル期限機能を使用した満足度



- キャンセル期限を設定することで、WEB上でキャンセルの締め切りを保護者の方にお知らせすることができ、都度説明をしなくても良くなり、業務負担軽減になった。
- 急なキャンセルによる混乱が少なくなり、満足している。
- 園の都合に合わせてキャンセル期限の時間が設定できるため、便利。

Q6 キャンセル期限機能を使用しない理由

※Q5でキャンセル期限機能「使っていない/分からない」と回答した方

回答	回答数
直前キャンセルでも保育施設側で困ることはない	32
「見学予約のキャンセル受付期限」を設定できることを知らなかった	22
保護者の利便性を優先したいため	16
設定方法が分からないため	12
その他	4
合計	54

新機能について①【保活オンライン相談】

As-is／To-beおよび開発のポイント

保活オンライン相談は、保護者がWeb上で相談日時を予約し、自治体職員とオンラインで入所相談を行うことができる機能である

As-is

- 入所相談のために平日の開所時間中に、妊娠中や子連れの状態で自治体を訪問しなければならず、負担が大きい
- 自治体窓口のピーク時の混雑が負担

To-be

- 自治体への移動時間や窓口での待ち時間が減ることで、負担を軽減
- あらかじめ相談予約ができることで、予定が立てやすく、利便性も向上

■開発のポイント

要件定義

実装すべき機能を事前に自治体へヒアリングして把握することで、ニーズが高い予約枠の設定や自動での会議URL発行を要件として盛り込むことができ、スムーズな仕様検討につなげた

仕様

保護者への確認事項等について、固定化せず、自治体ごとにカスタマイズ可能な設定項目として実装することにより、自治体ごとに異なる案内等を柔軟に反映できる仕様とした

ユーザーテスト

自治体窓口へ来所した保活中の保護者に対して、ユーザーテストを実施し、3.9の高評価を得たが、ポータルサイト上での導線が分かりにくいなどの改善意見に対して、ホーム画面のデザインを見直すなどの対応を行った

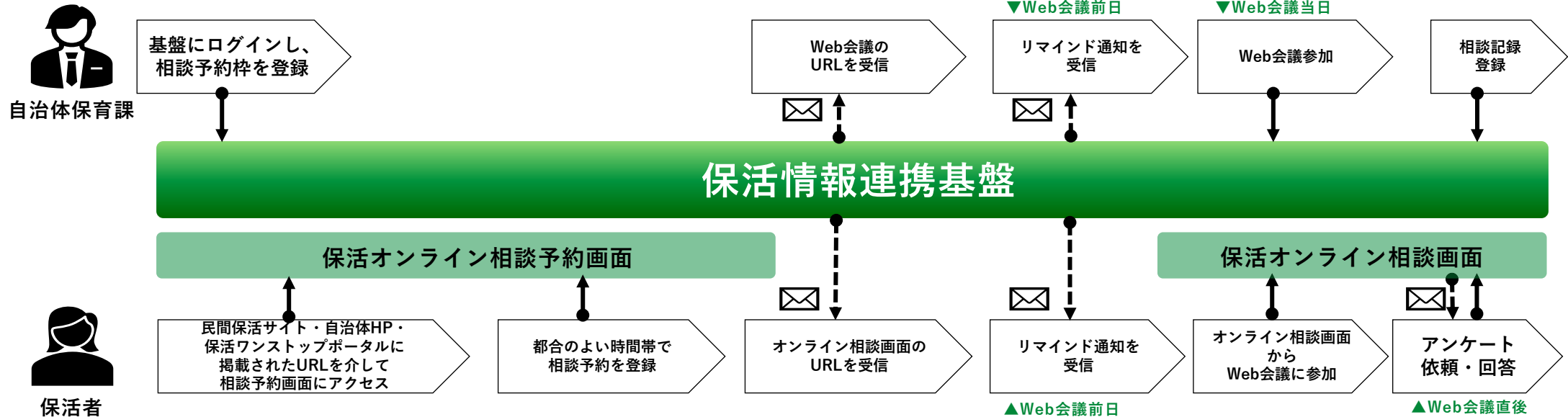
保活オンライン相談

To-be 実現に向けた機能構成と業務プロセス

機能概要

対象自治体 (11自治体)	港区、江東区、杉並区、板橋区、足立区、八王子市、昭島市、調布市、武蔵村山市、多摩市、西東京市	実装方法	保活情報連携基盤上に新規実装
サービス利用開始日	令和7年11月20日 (木曜日)	使用ツール	Zoom (オンラインWeb会議ツール)
利用方法	民間保活サイト、または東京都保活ワンストップポータルサイトから保活オンライン相談ページへアクセス		

業務フロー



保活オンライン相談

自治体へのアンケート結果

保活オンライン相談機能の運用体制や利用環境に関する回答結果については以下の通りである

■ 運用体制

Q1 保活オンライン相談をどのような人員体制で運用しているか

回答	回答数	比率
ローテーション（シフト制）等、順番に担当	6	55%
担当は決めず都合が良い職員が対応	3	27%
その他	2	18%
合計	11	100%

Q1-2 Q1で「その他」を選択した場合

- ・ 窓口対応担当の職員がオンライン相談も担当
- ・ 保活ワンストップの担当職員が担当
（今後相談頻度が増えるようなことがあれば運用を考えたい）

■ 体制・環境確保における工夫・取組事項

Q4 人員体制や相談環境の確保で苦労した点や工夫した点

- ・ 職員人数分のタブレットを用意し、プライバシー確保のため、パーテーションを置き自席でオンライン相談を実施した
- ・ 自治体側の課題ではあるが、相談場所の確保が難しい
- ・ 保育担当専用の会議室がなく執務室内でオンライン相談スペースを確保するのに苦労した
- ・ 利用できる会議システムが限定されており、デジタル部門からPCを借りる必要があったので、複数の会議システムから自治体を選択できるようにしてほしい
- ・ オンライン相談担当者を決めており、次の相談までの時間を窓口相談に充てられない（窓口での相談が長引いた場合等を想定、次の相談までは事務処理等を行っている）結果として窓口相談の担当者が手薄になる時間帯がある

■ 利用環境

Q2 保活オンライン相談を実施している主な場所

回答	回答数	比率
執務室（打合せスペース）	6	35%
会議室（庁内共通）	5	29%
執務室（自席）	3	18%
その他使えるスペース	2	12%
会議室（保育担当部署専用）	1	6%
合計	17	100%

Q3 保活オンライン相談で使用しているデバイス

回答	回答数	比率
PC（オンライン相談専用）	6	47%
タブレット（通常業務でも使用）	3	23%
PC（通常業務でも使用）	2	15%
タブレット（オンライン相談専用）	2	15%
合計	13	100%

新機能について②【指数シミュレーション】

As-is／To-beおよび開発のポイント

指数シミュレーションは、保護者がWeb上で質問に回答することで、保育指数を試算できる機能である

As-is

- 自治体の資料を読んでも指数そのものの理解が難しく、自分の指数の試算があっているか分からず不安を感じている
- 希望施設の順位を決定するために必要な材料が足りない

To-be

- 指数を完全に理解していなくても、簡単に試算（シミュレーション）ができ、不安感が軽減
- 前年度の入所最低指数をセットで公表することで、試算結果との比較が容易になり、希望施設の決定がスムーズ

■開発のポイント

開発方針

全国展開を見据え、①保護者の利用しやすさと②自治体の設定しやすさを大方針として機能開発を進めた
具体的には、

- ①保護者の利用しやすさ⇒直感的な操作が可能なチャットボット形式を採用
- ②自治体の設定しやすさ⇒LoGoフォームなどの一般的なWebフォーム作成ツールと同様の操作感を目指す
⇒自治体間で設定内容の共有を可能な仕組みとする

プロトタイプによる 検証

GovTech東京がプロトタイプを実装し、利用自治体の指数表を用いた検証を行うとともに、UI/UXについて機能面との整合性を確認しながら事前に検討を進めたため、開発事業者の決定後に、アジャイル方式での安定した開発が可能となった

指数シミュレーション

To-be 実現に向けた機能構成と設定の進め方

■ 機能概要

対象自治体（9自治体）	港区、江東区、杉並区、板橋区、八王子市、昭島市、調布市、武蔵村山市、西東京市	実装方法	保活情報連携基盤とは別に指数シミュレーションシステムとして設問データ管理システム・ホスティングWebサーバを構築（詳細は次ページを参照）
サービス利用開始日	令和8年1月20日（火曜日）	使用ツール	指数シミュレーター（ホスティングWebサーバー）
利用方法	民間保活サイト、または東京都保活ワンストップポータルサイトから指数シミュレーションページへアクセス		

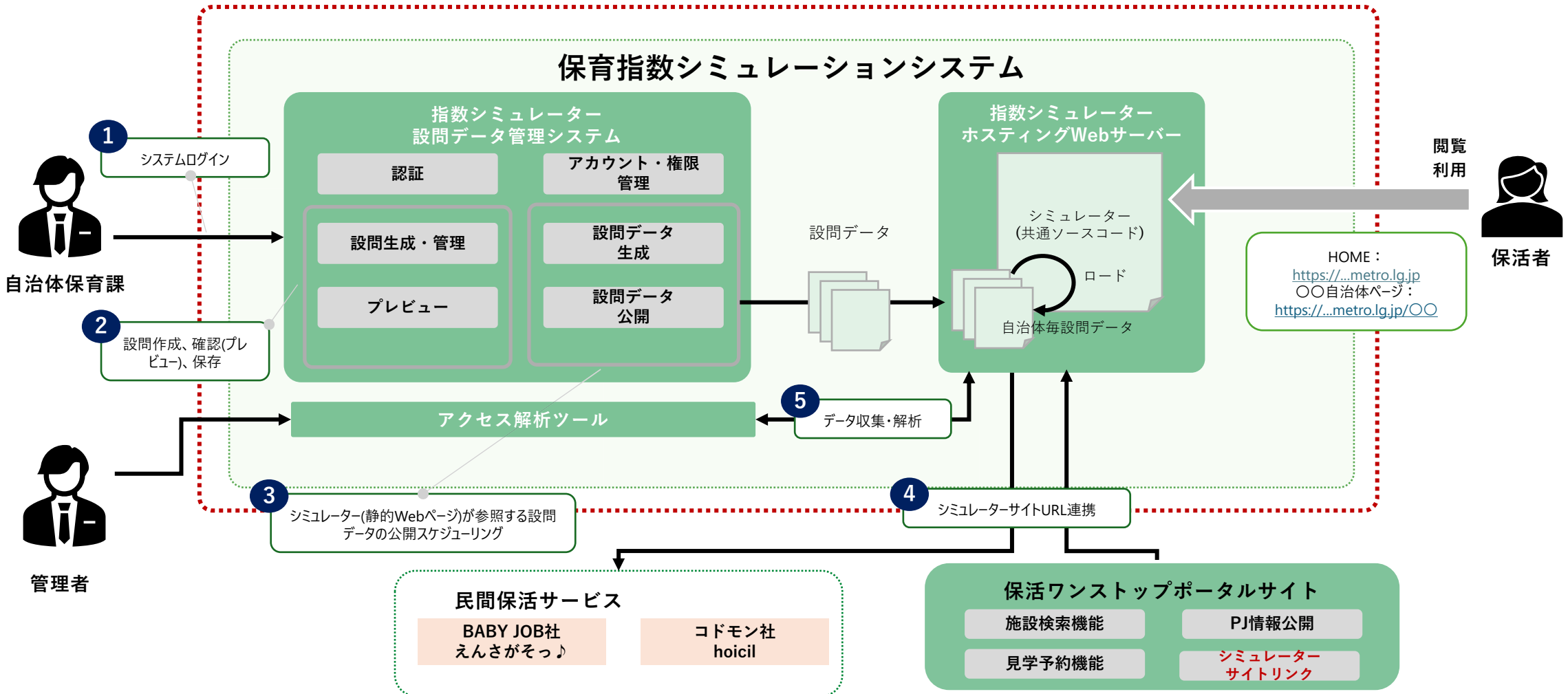
■ 設定の進め方

流れ	事項	具体的な内容
STEP1	初期データ作成	<ul style="list-style-type: none">東京都およびGovTech東京にて、指数シミュレーションの初期設定データを作成
STEP2	自治体への説明・設定内容共有 自治体メンテナンス	<ul style="list-style-type: none">東京都およびGovTech東京が自治体へ赴き、初期設定内容および操作方法を説明自治体による初期設定内容の確認及びメンテナンスを実施
STEP3	ユーザーテスト	<ul style="list-style-type: none">自治体窓口へ来所した保活中の保護者に対して、ユーザーテストを実施し、4.3の高評価を得たが、最低入所指数へのアクセスが分かりにくいなどの改善意見もあった
STEP4	設定内容の見直し・反映	<ul style="list-style-type: none">改善意見等を踏まえ、シミュレーションの該当画面の文言を見直すなどの対応を行った自治体において、伝わりにくい表現の改善や補足の追加等を行った

指数シミュレーション

システム概要

自治体職員が設問を設定・登録・管理を行う仕組みを作成し、
保育指数シミュレーションが可能なページをWebサーバーで公開できる仕組みを構築した



指数シミュレーション

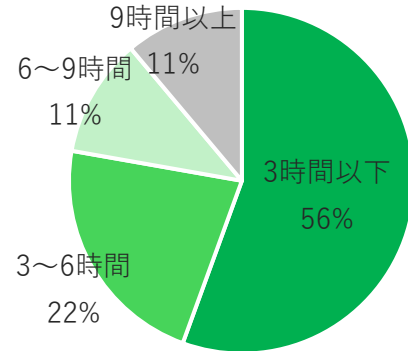
自治体へのアンケート結果

指数シミュレーション機能の設問設定・メンテナンスに要する時間や、操作感に関する回答結果については以下の通りである

■設問設定・メンテナンスに要する時間

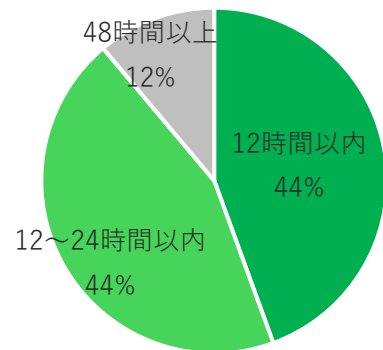
Q1 自治体での設問メンテナンスにどの程度時間がかかったか

回答	回答数	比率
3時間以下	5	56%
3～6時間	2	22%
6～9時間	1	11%
9時間以上	1	11%
合計	9	100%



Q2 設問の初期設定は東京都/GovTech東京が行ったが、自治体が最初から設定する場合どの程度時間がかかると思うか

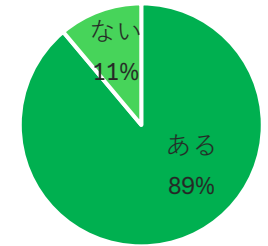
回答	回答数	比率
12時間以内	4	44%
12～24時間以内	4	44%
24～48時間	0	0%
48時間以上	1	12%
合計	9	100%



■操作感について

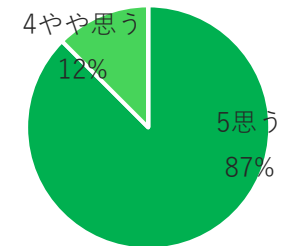
Q3 指数シミュレーションは、一般的なWebフォーム作成ツールと同様の操作感を目指し開発したが、LoGoフォームやGoogleフォーム等、一般的なwebフォーム作成ツールを使ったことがあるか

回答	回答数	比率
ある	8	89%
ない	1	11%
合計	9	100%



Q4 Q3で「ある」と回答した場合、同様の操作感だと感じられたか

回答	回答数	比率
5思う	7	88%
4やや思う	1	12%
3どちらとも言えない	0	0%
2やや思わない	0	0%
1思わない	0	0%
合計	8	100%



Q4-2 Q4の理由

- ・シンプルなデザイン及び直感的な操作が可能であるため
- ・一問一答形式のため操作がスムーズに感じた
- ・設問の作成について、一般的なwebフォーム作成ツールと同様の操作感であったため
- ・条件設定がわかりやすく設定がひと目で確認できると感じたため
- ・LoGoフォームよりも操作しやすいと感じた

保活ワンストップポータルサイトの画面変更点

利用者

保護者・自治体・保育施設

見学予約キャンセル期限表示、新機能として保活オンライン相談、および指数シミュレーションへの導線を追加

見学予約キャンセル期限

お申し込みを受け付けました。ご予約の確定まで今しばらくお待ちください。
： でのご予約内容の確認後、改めてご連絡申し上げます。その連絡をもって、ご予約確定となります。

■ご予約内容■

- ・ご予約先：〇〇保育園
- ・見学希望日時：2026年03月05日（木）10:00
- ・見学予定人数：大人 1人 お子様 0人
- ・入園希望のおよ様の生年月（1人目）：2026年02月
- ・入園希望時期：2026年02月
- ・氏名：東京太郎
- ・フリガナ：トウキョウタロウ
- ・電話番号：080-1111-2222
- ・メールアドレス：Tokyo_123@gmail.com
- ・保育施設への連絡事項：

■見学施設の連絡先■

- ・電話番号：03-1234-5678
- ・住所：東京都新宿区西新宿二丁目

■ご予約の日時変更やキャンセルについて■

- ▼ご予約の日時変更
お手数ですが、直接上記施設にお電話ください。

▼ご予約のキャンセル

2026年03月04日（水）10:00 までであれば、Web から手続きいただけます。



予約申請承認時の
送信メールに記載

表示/画面

保活オンライン相談/指数シミュレーション



保活オンライン相談

保育指数シミュレーション

入園手続きを始める

機能

- ✓ 保護者が見学予約を申し込んだ後に送信される「予約申請受け付け完了通知メール」にキャンセル受付期限を表示
- ✓ 見学予約申込の段階でオンラインでキャンセル可能な日時を確認することが可能

- ✓ 「入園手続き・準備のご案内」から自治体ごとに「保活オンライン相談」、「指数シミュレーション」の入口を設置
- ✓ 対象自治体の保育施設ページから「手続き・準備一覧」へ遷移することも可能

保活オンライン相談の画面概要（保護者向け）

利用者

保護者

民間保活サイト・自治体HP・保活ワンストップポータルサイトに掲載されたURLを介して相談予約画面へアクセスする

WEB
画面

予約フォーム

板橋区保活オンライン相談
予約フォーム

相談者情報の入力

ご希望日時

空きあり

		2025年8月						
日	月	火	水	木	金	土		
30	31	1	2	3	4	5		
-	-	-	-	-	-	-		
6	7	8	9	10	11	12		
-	-	-	-	-	-	-		
13	14	15	16	17	18	19		
-	-	-	-	-	<input type="radio"/>	-		
20	21	22	23	24	25	26		
-	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>	-	-	-		
27	28	29	30	1	2	3		
-	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-		

相談のテーマ

当てはまるものをすべてお選びください。

- 保育園入所に関する一般的な質問
- 支援が必要なお子さんの入所に関する質問
- 在園に関する質問（在園児がいる場合）
- 区内の、保育園入所の書類提出
- 区外の、保育園入所の書類提出
- その他

詳しい相談内容

具体的なご相談内容をご記入ください。

オンライン相談開始/オンライン相談終了後

板橋区保活オンライン相談 オンライン相談に ご参加ください

ご予約日時
2025年8月23日(金) 11:30~12:30

オンライン相談に参加する前に、マイクとカメラの設定をご確認ください。
定刻になりましたら、下のボタンから相談ルームへ入室いただけます。

オンライン相談に
参加する

[接続テストをする](#)

オンライン相談終了後のお願い

今後のサービス改善のため、皆様のご意見をお聞かせください。下記のURLよりアンケートへのご協力をお願いいたします。

[アンケートに回答](#)

機能

- ✓ 保活ワンストップポータルサイトから「オンライン相談予約開始ページ」へ遷移し、会員登録を行わずにメールアドレスの入力のみで予約に進むことが可能
- ✓ 相談希望日時、氏名、フリガナ、電話番号、お住まいの地域、入園希望のお子様の生年月、入園希望時期、相談のテーマ、詳しい相談内容を入力し、申し込みが可能

- ✓ 自治体での審査が完了した後、予約確定の承認メールが届き、メールよりオンライン相談専用ページへアクセスすることが可能
- ✓ オンライン相談開始前にZoomの接続テストを行うことが可能
- ✓ 「オンライン相談に参加する」ボタンからZoomへ入室することが可能
- ✓ 終了後は「アンケートに回答」する

指数シミュレーションの画面概要（保護者向け）

利用者

保護者

民間保活サイト・自治体HP・保活ワンストップポータルサイトに掲載されたURLを介してシミュレーション画面へアクセスする

WEB
画面

基本指数（保護者1・2）の試算と結果表示

The process consists of three sequential screens:

- Screen 1:** Introduction to the simulation. It explains that the calculation is based on the guardian's situation one month before the start of childcare. It lists various reasons for needing childcare, such as being employed, on a job hunt, on leave, or having a family member with a disability. A "Start" button is at the bottom.
- Screen 2:** Questionnaire for Guardian 1. It asks how many days per month they are working. Options include "20 days or more (5 days/week)", "16 days or more (4 days/week)", and "12 days or more (3 days/week)". It also asks for their daily working hours, with options like "8 hours or more", "6-8 hours", "4-6 hours", and "less than 4 hours". A "Next" button is at the bottom.
- Screen 3:** Results for Guardian 1. It displays "Guardian 1's basic index: 30 points" and a "Next" button to proceed to Guardian 2's calculation.

調整指数の試算と結果表示

The process consists of three sequential screens:

- Screen 1:** Questionnaire for adjustment index. It asks if the guardian currently has childcare leave. Options are "Yes" and "No". It also asks if they have any of the following conditions: "Physical disability level 1-2", "Love care level 1-2-3", or "Mental disability care level 1-2-3". A "Next" button is at the bottom.
- Screen 2:** Simulation results. It displays: "Simulation result: Total index: 61 points", "Guardian 1's basic index: 28 points", "Guardian 2's basic index: 30 points", and "Adjustment index: 3 points". It includes a "View results" button and a link to "Boarding application and preparation information".
- Screen 3:** Final results page. It shows the total score of 61 points and a breakdown: "Guardian 1's basic index: 30 points", "Guardian 2's basic index: 28 points", and "Adjustment index: 3 points". It includes a "Share results" button and a "View details" button.

機能

- ✓ 保活ワンストップポータルサイトから「指数シミュレーション開始ページ」へ遷移し、モーダル画面からシミュレーションを開始することが可能
- ✓ チャット形式の質問に答えながら保護者1・保護者2の基本指数の試算が行える
- ✓ 質問の途中で「1つ戻る」、「最初からやり直す」ことも可能（調整指数も同様）

- ✓ 調整指数についても同様にチャット形式の質問に答えながら試算が行える
- ✓ 最終試算結果についてもモーダル画面上に表示され、「結果を詳しくみる」をクリックすることでシミュレーション回答の詳細を確認することが可能（保護者1・保護者2それぞれの基本指数も確認可能）
- ✓ 「結果を共有する」ボタンでURLが保存でき、見返すことや家族と結果を共有することも可能

民間保活サイトの画面変更点① 機能改修

利用者	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育施設側で設定したキャンセル期限を表示 ・ 保育施設側で設定したキャンセル期限日以降の予約に対してはキャンセル操作が出来ないように改修
-----	-----	---

システム	えんさがそっ♪ (BABY JOB株式会社)
------	------------------------

ホイシル (株式会社コドモン)

WEB見学申し込み履歴

1 状態

2 予約申請中

3 キャンセル

4 キャンセル期限: 2025-05-17 09:00

希望日 5
2025-05-22 10:00

備考

WEB見学申し込み履歴内に「キャンセル期限」を表示
※設定なしの場合は表示しない

hoicil 掲載施設数 No.1 保育施設を探す 求人を探す 園見学の予約サイト

認可保育園 / 東京都板橋区
かないくぼ保育園

Webでいつでも受付中!
園見学を予約

東京都板橋区板橋2-21-1 地図

平日 7:15~18:15 / 土曜 7:15~18:15

生後6ヶ月~5歳児クラス

Webでいつでも受付中!
園見学を予約

電話で問い合わせる ☎ 0339644678

最終更新日: 2024年10月29日

★ リストに追加

見学予約にあたっての園からの連絡事項

園のことでお知りになりたいことがあれば、見学予約申込時にコメントをください。①見学所要時間30分~40分 ②1回あたりの見学組数 5組程度 ③ご夫婦での参加、お子様同伴でも大丈夫です。④見学にあたって保育園へ事前に伝えておきたい事項がございましたらコメントをください。

見学予約キャンセル受付期限

見学予約日時の2時間前まで

施設情報ページの下部に「キャンセル期限」を表示

◇キャンセルしたい場合◇

申し込みをキャンセルしたい場合は、以下から期限までにキャンセル処理を行なってください。

{対象施設のメモ画面URL}

キャンセル期限: [キャンセル期限日時 yyyy-mm-dd hh:mm]

※期限を過ぎた場合は、保育施設へ電話にて直接ご連絡ください。

メール通知

ホイシル内の保活ワンストップマイページから、最新の見学予約の状況を確認することが可能です。

<お問い合わせ内容>

【施設名】 <予約対象の施設名>

【施設URL】 <予約対象の施設情報URL>

【見学希望日時】 <予約申請時の見学希望日時>

【予約番号】 <基盤で払い出される予約ID>

【予約キャンセル期限日時】 <基盤で払い出される見学予約キャンセル期限日時>

民間保活サイトの画面変更点② 機能追加

利用者	保護者	・保活オンライン相談、および指数シミュレーションへの導線確保
-----	-----	--------------------------------

システム	えんさがそっ♪ (BABY JOB株式会社)	ホイシル (株式会社コドモン)
------	------------------------	-----------------

WEB画面

えんさがそっ♪

保育施設を検索する キープ マイページ 保活コラム お母りのときはこちら

えんさがそっ♪ > 東京都 > 板橋区 > 認可保育園 > かないくぼ保育園

認可保育園 # Webで見学申込可

かないくぼ保育園

〒1730004 東京都板橋区板橋2-21-1 [マップで確認](#)

平日 7:15~19:15 / 土曜 7:15~19:15

0歳, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳

延長保育あり # 障がい児受け入れ体制あり # アレルギー対応あり

Webで見学を申し込む

キープする

入園手続きを始める

※外部サイトのページが別タブで開きます

保活ワンストップ 関連サービスのご紹介 (板橋区)

保活オンライン相談	自治体担当者へオンラインで相談が可能です。	🔗
指数シミュレーション	保育施設の入園選考で使われる指数が計算できます。	🔗

対象自治体の保育施設ページ中央に関連サービスとしてリンク表示

hoicil 掲載施設数 No.1 園見学の予約サイト 保育施設を探す 求人を探す マイページ

認可保育園 / 東京都板橋区

かないくぼ保育園

Webでいつでも受付中! 園見学を予約

電話で問い合わせる ☎0339644678

最終更新日: 2024年10月29日

東京都板橋区板橋2-21-1 地図

平日 7:15-18:15/ 土曜 7:15-18:15

生後6ヶ月~5歳児クラス

園あり リトミック 体操 英語教育 連絡アプリ

他6件の特徴

すべての特徴

★ リストに追加

保活オンライン相談予約	保活ワンストップポータルサイト (外部) へ移動
指数シミュレーション	保活ワンストップポータルサイト (外部) へ移動
見学予約にあたっての園からの連絡事項	園のことでお知りになりたいことがあれば、見学予約申込時にコメントをください。①見学所要時間30分~40分 ②1回あたりの見学組数 5組程度 ③ご夫婦での参加、お子様同伴でも大丈夫です。④見学にあたって保育園へ事前に伝えておきたい事項がございましたらコメントをください。
見学予約キャンセル受付期限	見学予約日時の2時間前まで

対象自治体の保育施設ページ下部にそれぞれのサービスをテキストリンク表示

施設情報・見学予約システムの画面変更点

<p>利用者</p>	<p>保育施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見学予約申請の自動承認設定項目を追加 ・見学予約申請の受付期限の設定項目を追加 ・見学予約申請のキャンセル期限の設定項目を追加 	
<p>WEB画面</p>	<h3>見学予約の自動承認</h3> <p>変更</p> <p>現在の設定：「OFF」（自動承認しない/手動で審査する）</p> <p>■自動承認がONの場合 見学予約申請に対して、システムが自動的に承認をします。 空き枠がなかった場合は、自動的に見送りになります。</p> <p>■自動承認がOFFの場合 見学予約申請に対して、職員が手動で審査して承認/見送りを行います。</p> <p><input checked="" type="radio"/> ON（自動承認する） <input type="radio"/> OFF（自動承認しない/手動で審査する）</p> <p>前へ 次へ</p>	<h3>見学予約の受付期限</h3> <p>変更</p> <p>保育園で見学予約を受け付ける期限（締切）を時間単位で設定することができます。</p> <p>[例] 24時間と設定した場合 見学開始日時：2025/04/01 9:00 予約申請締切日時：2025/03/31 9:00（予約開始日時の24時間前）</p> <p>*何時間前まで予約を受け付けますか 12 ※168時間以下で入力してください。</p> <p>前へ 次へ</p>	<h3>見学予約のキャンセル期限</h3> <p>変更</p> <p>保護者からオンラインでのキャンセルを受け付ける期限（締切）を時間単位で設定することができます。</p> <p>[例] 24時間と設定した場合 見学開始日時：2025/04/01 9:00 予約キャンセル締切日時：2025/03/31 9:00（予約開始日時の24時間前）</p> <p>*何時間前までキャンセルを受け付けますか 24 ※168時間以下で入力してください。</p> <p>前へ 次へ</p>
<p>操作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「ON」、または「OFF」をラジオボタンで選択 ✓ 承認待ちの予約が存在する場合は、自動承認を変更することは出来ず、すべての承認待ちの予約審査後に変更が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 見学予約を受け付ける期限（締切）を時間単位で設定することが可能 ✓ 「0」時間とし、期限を設けないことも可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ オンラインで予約キャンセルを受け付ける期限（締切）を時間単位で設定することが可能 ✓ 「0」時間とし、期限を設けないことも可能

保活情報連携基盤の画面変更点

利用者

連携自治体・東京都・GovTech東京・システム管理者

保活オンライン相談の相談予約状況の確認、相談予約枠の登録、相談予約枠管理、自治体情報（10項目）の更新に対応

WEB画面

自治体情報

東京都 TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

検索...

保活情報連携基盤 ホーム 施設情報 施設情報変更依頼 保活関連手続き情報 自治体情報 さらに表示

自治体情報 板橋区 変更

詳細 変更履歴

自動承認/受付・キャンセル期限

相談予約申請を自動承認する

相談予約の受付期限 (h時間前まで) 24

相談予約のキャンセル受付期限 (h時間前まで) 1

予約枠数

基本の予約枠数 1

Zoomライセンス数 2

相談開始画面に表示するテキスト

ご確認事項 (保護者に表示するメッセージ)

1 使用するアプリケーションツール

- オンライン相談ではZoomビデオコミュニケーションズのZoom (正式名称: Zoom Meetings) を使用します。
- 使用するアプリケーションは事前にインストールや登録設定等の準備を行ってください。

2 注意事項

- オンライン相談は1回当たり45分です。予約時間を10分経過しても参加が確認できない際には、キャンセル扱

相談予約枠管理

東京都 TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

検索...

保活情報連携基盤 ホーム 施設情報 施設情報変更依頼 保活関連手続き情報 自治体情報 相談予約枠管理 相談予約枠情報

相談予約枠管理

【予約枠の設定方法について】

作成する場合：作成したい日付をカレンダー上でクリックしてください。

変更する場合：変更したい予約枠をクリックしてください。※枠数とメモのみ編集可能

無効にする場合：無効にしたい予約枠をクリックし、「無効にする」ボタンを押してください。

確認する場合：確認したい予約枠をクリックしてください。

予約枠情報 2026年2月 基本の予約枠数: 1

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
		部分				
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	10:30 - 11:00 空(1枠) 14:30 - 15:00 空(1枠)		会議記念の日			
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
		10:20 - 10:50 空(1枠)				

本日以降の相談予約枠 さらに表示

本日以降の相談予約枠

0個の項目。並び替え基準: 相談予約枠番号

検索条件: 相談開始時刻, 有効

本日以降の相談予約枠にはまだ何もありません。レコードがこのリストビューに追加されると、それらのレコードがここに表示されます。

機能

- ✓ 「自治体情報」では、自動承認、相談予約の受付期限、キャンセル受付期限、基本の予約数のほか、相談テーマや相談内容に表示するメッセージ等を自治体ごとに設定することが可能
- ✓ 保活オンライン相談を利用しようとする保護者に向けて、申込前に注意事項などの説明を入力することも可能

- ✓ 「相談予約枠管理」では相談予約を受け付ける予約枠の登録が可能
- ✓ 既存の施設情報・見学予約システムに準拠した操作方法を踏襲し、登録したい日付をカレンダー上でクリックし、簡単に予約枠の登録が可能
- ✓ 作成済の予約枠を別日にドラック&ドロップすることで、予約枠の複製も可能

指数シミュレーションの設定画面の概要（自治体向け）

利用者

連携自治体・東京都・GovTech東京・システム管理者

- ・保活情報連携基盤とは別に指数シミュレーションシステムを開発
- ・「指数シミュレーション設定ツール」では、シミュレーション、基本設定、基本指数、調整指数の登録に対応

WEB画面

基本指数/調整指数の設定

基本設定 **基本指数** 調整指数 プレビュー

設問2

設問テキスト **必須**

選択肢 **必須**

1	月20日以上	点数	0	点 ~	点	<input type="checkbox"/> OFF	点数の範囲を設定
2	月16日以上	点数	0	点 ~	点	<input type="checkbox"/> OFF	点数の範囲を設定
3	12日以上	点数	0	点 ~	点	<input type="checkbox"/> OFF	点数の範囲を設定
4	上記に該当しないが、月48時間以上	点数	8	点 ~	点	<input type="checkbox"/> OFF	点数の範囲を設定

表示条件1

1: 保護者の状況について教えてください...

対象選択肢を選択してください:

- 就労（月48時間以上）
- 就労内定（月48時間以上）
- 出産

1件選択中

公開設定（共有）

公開設定

公開開始日時 *

公開終了日時 *

シミュレーションの共有

自治体間でシミュレーションの設定内容を共有できるよう、基本的に「共有する」に設定してください。

共有する 共有しない

シミュレーション一覧画面

西東京市 **他自治体**

ステータス	公開期間	データ名称
公開中	2025/12/02 00:00 ~ 2026/01/16 23:59	令和8年度武蔵村山市保育指数シミュレ...
公開中	2025/11/06 00:00 ~ 2027/11/06 23:59	令和8年度板橋区保育指数シミュレーション...
公開中	2025/10/06 09:00 ~ 2027/11/05 23:59	令和8年度板橋区保育指数シミュレーション...
公開中	2025/11/07 10:00 ~ 2028/03/31 23:59	令和8年度：港区保育利用調整基準

機能

- ✓ 「基本設定」として、「基本指数」では、「質問」、「選択肢」、「表示条件」の構成で設定が可能であり、設定した設問が保護者1・保護者2で繰り返し表示
- ✓ 「調整指数」では、「質問」、「選択肢」、「表示条件」の構成で設定が可能であり、設定した設問は1回のみ表示

- ✓ 指数シミュレーションは複数年度分作成することも、テストや暫定版として作成することも可能
- ✓ 即時公開・非公開、公開開始日時/終了日時を設定することも可能
- ✓ 作成したシミュレーションを自治体間で共有することが可能
- ✓ 「共有する」を選択すると、データが他自治体へ共有され、内容を他自治体ユーザが閲覧・コピーすることが可能

システム更新履歴

プロジェクトの大規模リリースと毎月の小規模改善リリースにより、プロジェクトの計画的な推進を図りつつ、継続的なサービス品質の向上に取り組んだ

リリース日	種別	対象	更新内容
4月22日	保守・改善	ポータルサイト	ユーザビリティテストのフィードバック対応、UI不具合改修
5月13日	保守・改善	保活情報連携基盤	保育施設向け業務の機能追加
6月10日	保守・改善	保活情報連携基盤	軽微な不具合改修
7月16日	プロジェクトリリース	全体	19自治体、1,070園への拡充 追加機能（自動承認、予約・キャンセル期限、データ項目拡充）
8月26日	保守・改善	保活情報連携基盤	機能改善、不具合改修
9月16日	保守・改善	全体	1,276園への拡充 機能改善、不具合改修
10月7日	保守・改善	保活情報連携基盤	機能改善、不具合改修
11月20日	プロジェクトリリース	全体	保活オンライン相談機能の追加
12月17日	保守・改善	ポータルサイト	UI不具合改修
1月20日	プロジェクトリリース	全体	指数シミュレーション機能の追加
2月4日	保守・改善	ポータルサイト	東京都保活ワンストップポータルサイトにおける見学予約キャンセル機能の追加
3月11日	保守・改善	ポータルサイト	機能改善、不具合改修

3

各活動の実績

開発会議実績

保活情報連携基盤システムの構築や新機能の開発をはじめ、民間保活システムと保育ICTシステムとのAPI連携を実装するにあたって以下のように会議を実施

会議内容

- ✓ 本会議は以下の内容について決定する
 - ・ 保活情報連携基盤の機能改修
 - ・ 新機能開発について（保活オンライン相談、指数シミュレーション）
 - ・ 民間保活システム及び保育ICTの連携
 - ・ 保活情報連携基盤ポータルデザイン
 - ・ 定例での進捗報告
 - ・ 事業運営にあたっての課題共有
 - ・ 障害発生時の情報共有と対策の検討

会議種別	開催頻度	定例会	臨時	開催回数	会議内容
仕様確認	週次（週2回）・臨時	86	24	110	システム構築・改修、新機能開発の進捗状況に関する会議
デザイン確認	週次（週2回）・臨時	0	11	11	UI/UXデザイン、画面仕様に関する会議
運用	月次（毎月25日）	11	0	11	月次報告（12月のみ書面開催）
その他	臨時	0	12	12	保活情報連携基盤リリース時の情報共有会、また事業運営にあたっての課題共有

※令和7年4月～令和8年3月末

保育施設向け操作説明会の実施

参加保育施設を対象として操作説明会を大きく分けて2回実施
プロジェクト概要および操作手順の理解と実機操作への習熟を目的として、デモ機によるハンズオン研修を実施した

	①令和7年5月～6月	②令和7年9月
実施期間	令和7年5月16日（金）～6月3日（火） 23回（1回につき2時間）	令和7年8月19日（火）
会場	11会場（足立区、杉並区、渋谷区、板橋区、江戸川区、江東区、八王子市、調布市、青梅市、多摩市、清瀬市、町田市）	オンライン
対象	令和7年参加保育施設 <u>1,070園</u>	令和7年9月追加参加保育施設 <u>206園</u>
内容	<ul style="list-style-type: none">✓ 保活ワンストッププロジェクトの概要✓ 操作体験デモ✓ 保育施設への依頼事項✓ 施設情報・見学予約システム 運用ルール	

①操作説明会の様子



東京都及びGovTech東京での広報

サービスリリース時のプレス発表や、運営会議開催後などの複数の機会にWebサイトにて周知・広報を行った
また、連携自治体や保育施設向けにチラシやバナー等の広報ツールを作成・提供するなど支援を行った

東京都 / GovTech東京

プレス発表

- 都及びGTTホームページに掲載

4月30日	保活ワンストップサービスの実施自治体を拡大	(東京都)	(GovTech東京)
7月18日	19自治体1,070園でサービス提供を開始	(東京都)	(GovTech東京)
9月17日	対象施設を更に拡大	(東京都)	(GovTech東京)
11月20日	保活オンライン相談サービスの提供を開始	(東京都)	(GovTech東京)
1月20日	指数シミュレーション機能の提供を開始	(東京都)	(GovTech東京)

Webサイト

- 都及びGTTホームページに、本事業について掲載。随時更新 (東京都) (GovTech東京)

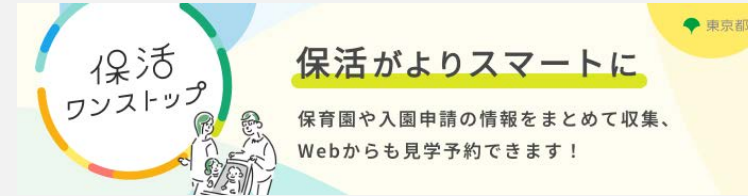
連携自治体/ 保育施設向け 広報ツール提供

- 参加保育施設一覧の二次元コードを掲載した各連携自治体のチラシを作成し、提供
- 保活ワンストップサービスのバナーや各保活サイトのロゴを提供

< チラシ >



< バナー >



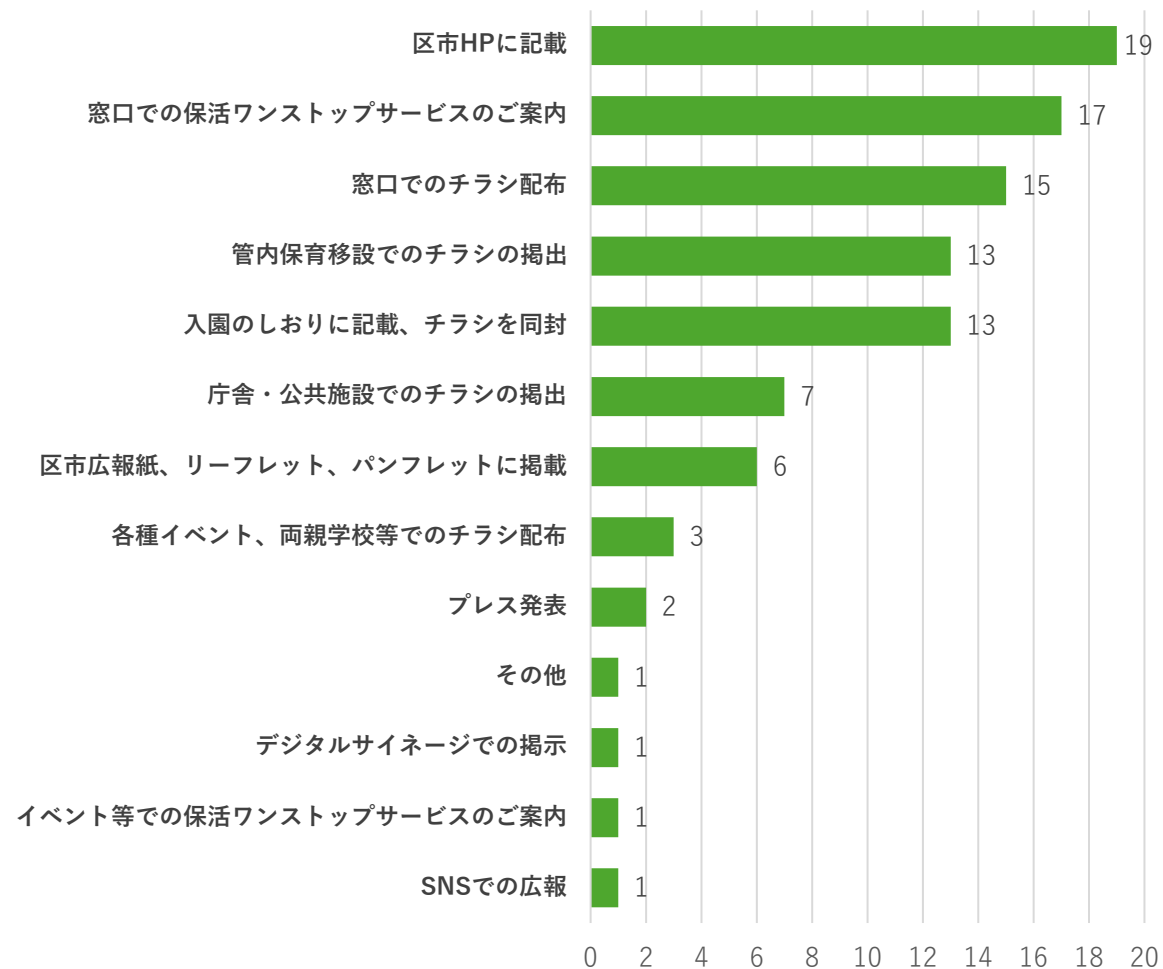
< 保活サイトロゴ >



連携自治体における周知・広報

サービスリリース時のプレス発表や、区市HP、SNS等を活用し各自治体にて周知・広報を行った
また、庁舎・窓口で保活ワンストップサービスを案内するほか、イベント等での案内も積極的に実施した

■ 保活ワンストップサービスに係る広報で行ったこと



■ 参考（SNS、Webサイト等）

・板橋区「入園案内動画」

・杉並区「公式LINE」

・日野市「広報ひの7月号」

・八王子市「プレスリリース」

・町田市「プレスリリース」

つながる子育て推進会議

保活ワンストップの取組を参画の有無にかかわらず、広く横展開（国・自治体・関係事業者等）をするため、令和7年度も引き続き、つながる子育て推進会議においてプロジェクトの進捗報告や意見交換を行った

設置目的

デジタルサービス変革の突破口としてこども DX を進めるため、関係する行政機関や民間団体等との連絡調整を図り、都のみならず全国展開を視野に入れたサービス基盤の構築や垣根を越えたデータ連携等を推進することを目的とする

会議の概要

第4回 つながる子育て推進会議

開催日時：令和7年12月16日（火）13:30～14:45

保活ワンストップに関する報告内容

東京都におけるこどもDXの取組の一つとして、保活ワンストップサービスを紹介

保育施設の情報収集や見学予約等に係る取組状況に加え、令和7年度に追加した保活オンライン相談機能および指数シミュレーション機能について説明を行った

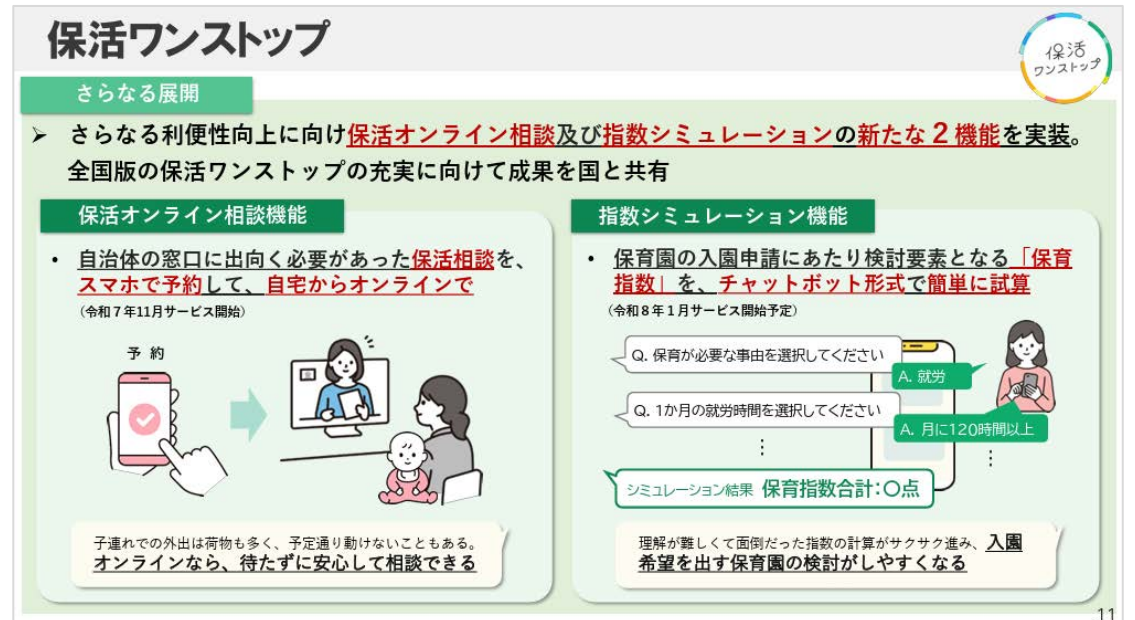
全国版の保活ワンストップの充実に向けた、国との成果共有も行った

<参考>

・第4回 東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議（PDF）

https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/digitalservice/kodomodx2025_conference04_shiryo1

<会議資料より抜粋>




保活ワンストップ

さらなる展開

- さらなる利便性向上に向け保活オンライン相談及び指数シミュレーションの新たな2機能を実装。全国版の保活ワンストップの充実に向けて成果を国と共有

保活オンライン相談機能

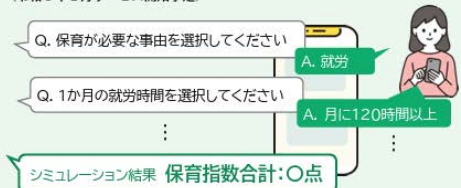
- 自治体の窓口に出向く必要があった保活相談を、スマホで予約して、自宅からオンラインで（令和7年11月サービス開始）



子連れでの外出は荷物も多く、予定通り動けないこともある。オンラインなら、待たずに安心して相談できる

指数シミュレーション機能

- 保育園の入園申請にあたり検討要素となる「保育指数」を、チャットボット形式で簡単に試算（令和8年1月サービス開始予定）



Q. 保育が必要な事由を選択してください
A. 就労

Q. 1か月の就労時間を選択してください
A. 月に120時間以上

シミュレーション結果 保育指数合計: 〇点

理解が難しく面倒だった指数の計算がサクサク進み、入園希望を出す保育園の検討がしやすくなる

保活ワンストッププロジェクト運営会議について

運営会議は、年3回開催し、システム構築・改修の進捗状況や運用状況を報告するとともに、意見交換等を行った取組成果に加え意見や要望等は、国で構築中の基盤の参考としてもらえるよう情報共有を行った

設置目的

- ・保活ワンストップサービスの運用や新規機能の実装にあたり、関係者間で事業運営状況や課題を共有し、より良いサービスにつなげる
- ・本取組が令和8年度中に国のシステムへ移行することを見据え、都における取組成果を国と共有し、サービスの円滑な移行につなげる

構成員

委員：事業実施主体（東京都、GovTech東京）、連携自治体・参加保育施設、関係府省等（こども家庭庁）の代表者
オブザーバー：事業者団体、関係府省等（内閣官房デジタル行財政改革会議事務局）の代表者
その他関係者：実施事業者（保活情報連携基盤・民間保活サイト・保育ICT・指数シミュレーション）

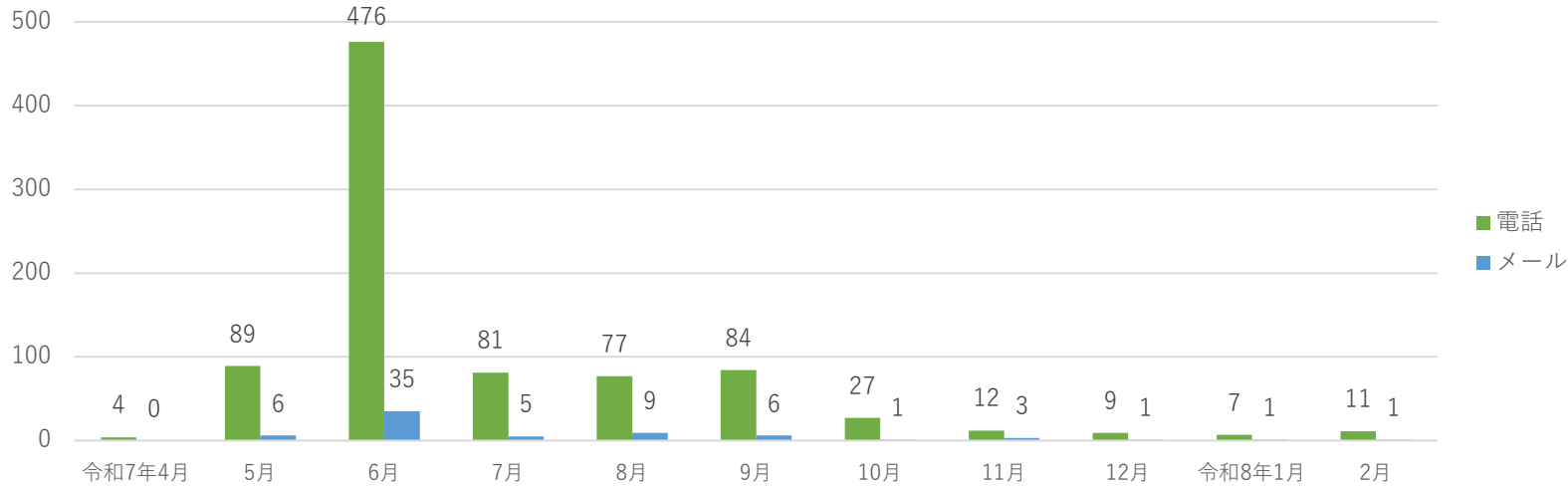
開催時期・議題

	第1回	第2回	第3回
開催時期	9月12日（金）（ハイブリッド）	12月24日（水）（ハイブリッド）	3月中旬（書面開催）
議題	<ul style="list-style-type: none">・運用状況を共有（8月末時点）・既存機能の効果測定実施案を共有・新規機能の開発について共有	<ul style="list-style-type: none">・運用状況を共有（11月末時点）・既存機能の効果測定の結果について共有・新規機能の運用・開発状況について共有	<ul style="list-style-type: none">・最終的な運用状況、効果検証結果をまとめたR7報告書の共有

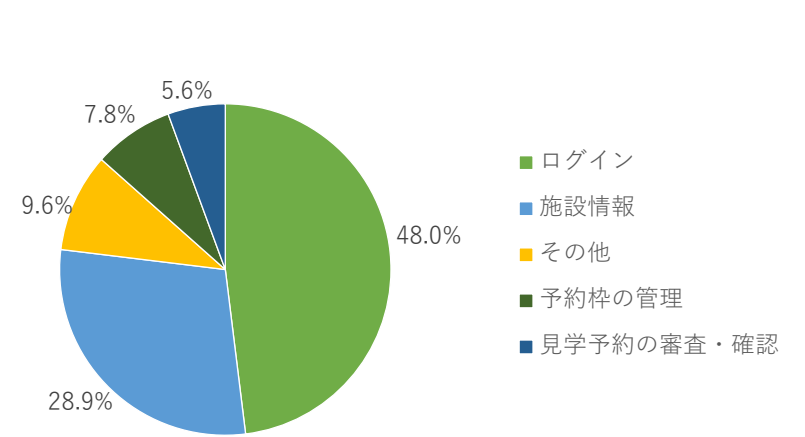
サポートデスク対応実績（1/2）

参加保育施設1,276園（ポータルサイトのみ掲載の参加外園655園を含む）、連携自治体および保護者からのシステム操作に関する問い合わせ対応を実施した

保育施設問い合わせ 件数（令和7年4月～令和8年2月）



保育施設問い合わせ区分 割合



■参加施設拡充前（4-6月）

保育施設からの問い合わせは610件（全体の93.6%）であり、そのうちログイン操作に関する問い合わせが316件（51.8%）と大半を占める。追加参加施設がシステム利用を開始した時期であり、主な問い合わせ内容は、ログインURL不明、ID・パスワードエラー（不明も含む）、パスワードリセットメールの有効期限切れによるパスワード再設定不可等であった。その他、施設情報の編集についての問い合わせが216件（35.6%）、予約枠の管理方法についてが38件（6.3%）であり、システム操作に関する問い合わせ全体の割合は低く、説明会での習熟度の高さが確認できた。

■参加施設拡充後・保活繁忙期（7-10月）

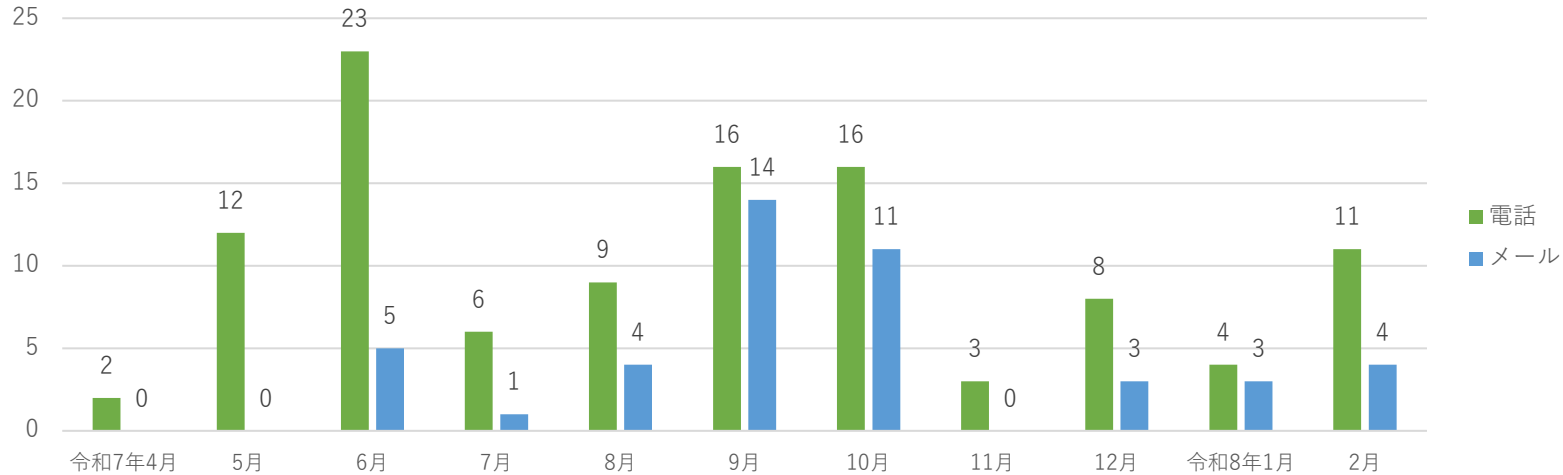
保育施設からの問い合わせは290件（79.0%）であり、そのうちログイン操作に関する問い合わせが123件（42.4%）であった。主な問い合わせ内容は前月と同様である。その他、施設情報の編集についてが54件（18.6%）、予約の審査・確認方法が41件（14.1%）、予約枠の管理方法が26件（9.0%）となっており、問い合わせ内容が実務に関する内容へと移行していることが確認できる。また、民間保活サイトやポータルサイト、保育ICTとの連携に関する問い合わせも寄せられ、保育施設からの関心が高いことが認められた。

■それ以降（11-2月）

保育施設からの問い合わせは45件（55.6%）と大幅に減少しており、運用に慣れてきた様子が確認できる。ログイン操作に関する問い合わせは15件（33.3%）、予約枠の管理方法が10件（22.2%）、予約の審査・確認方法が8件（17.8%）であった。また、予約枠の管理方法に関する問い合わせ内容は、予約枠の作成方法から令和7年度の見学予約を締め切った場合の運用についてへと移行している。

サポートデスク対応実績 (2/2)

自治体および保護者問い合わせ 件数 (令和7年4月～令和8年2月)



■参加自治体拡充前 (4-6月)

自治体からの問い合わせは41件 (6.3%)、保護者からの問い合わせは1件 (0.2%) であった。問い合わせの多くは保育施設から受けた質問に関する内容であり、27件 (65.9%) と大半を占める。主な問い合わせ内容は、アカウントの管理や施設情報の編集方法であった。

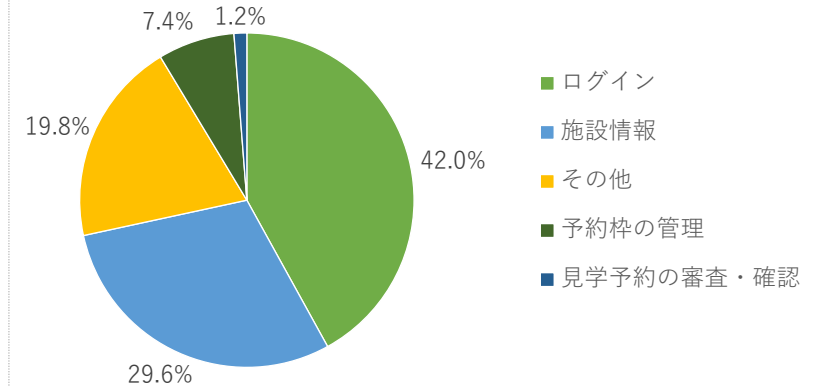
■参加自治体拡充後・保活繁忙時期 (7-10月)

自治体からの問い合わせは24件 (6.5%)、保護者からの問い合わせは52件 (14.2%) であった。特に、保活が本格化する9月から10月にかけて保護者から多くの問い合わせが寄せられた (44件)。主な問い合わせ内容は、見学予約日の変更・キャンセルが29件 (7.9%)、見学予約確定のお知らせメールが届かないことによる予約の確認が12件 (3.3%) であったが、全体としての割合は低く、多くの保護者が支障なく利用できていることが確認できる。

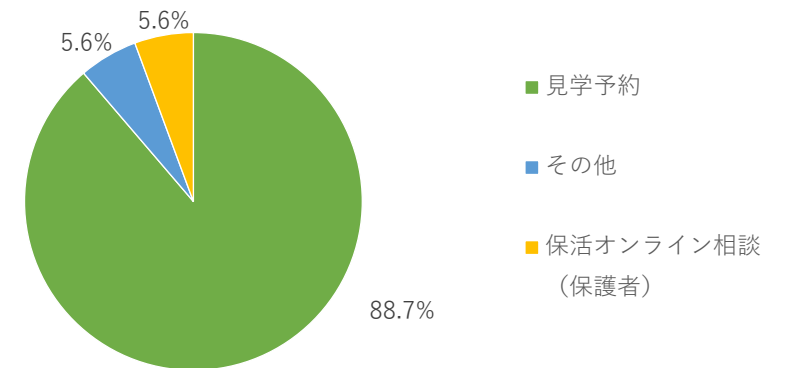
■それ以降 (11-2月)

自治体からの問い合わせは16件 (17.8%)、保護者からの問い合わせは18件 (22.2%) であった。自治体からは、保活オンライン相談のシステムリリースに伴い、ログインに関する問い合わせが13件 (81.3%) 寄せられた。保護者からは、見学予約に関する問い合わせが14件 (77.8%)、保活オンライン相談に関する問い合わせが4件 (22.2%) であった。主な内容はいずれも予約の確認およびキャンセル操作についてであり、多くの保護者が支障なく利用できていることが確認できる。なお、現時点では、指数シミュレーションに関する問い合わせは発生していない。

自治体問い合わせ区分 割合



保護者問い合わせ区分 割合



4

運用状況

システム稼働状況

令和7年4月1日から現在までの保活情報連携基盤、および各システムの稼働実績は、計画停止を除き100%である
各システムの計画停止、およびAPIコール数（各月の1日平均値）については以下の通りである

システム稼働率（令和7年4月～令和8年2月）

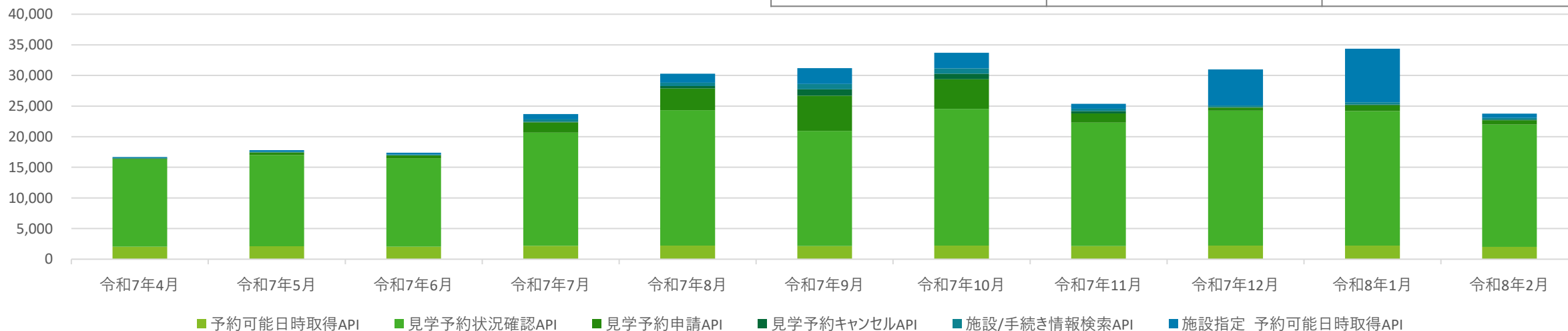


※稼働率= (総時間 - 停止時間) / 総時間 : 100%=(1,224-0)/1,224

システム計画停止（令和7年4月～令和8年2月）

- **Salesforce Summer'25 Major Release**
令和7年6月15日（26時）にメジャーリリースを実施
- **Salesforce Winter'26 Major Release**
令和7年10月11日（26時）にメジャーリリースを実施
- **Salesforce Spring'26 Major Release**
令和8年2月21日（26時）にメジャーリリースを実施
- **Salesforce Hyperforce移行**
令和8年2月28日（25時）に移行リリースを実施

APIコール数 各月の1日平均（保活情報連携基盤）



1日でのAPIコール数上限	平均APIコール数	最大APIコール数
131,820	856	1,395

保活情報連携基盤 (1/3)

保活情報連携基盤より抽出したデータ（令和7年4月1日～令和8年2月28日）から分かる運用実績は以下の通りである

■ 見学予約受付概況

算出期間	見学予約総数	予約承認数	予約見送り数	予約キャンセル数
令和7年4月	197件	172件	4件	20件
令和7年5月	454件	394件	3件	57件
令和7年6月	513件	442件	6件	65件
令和7年7月	3,287件	2,876件	64件	339件
令和7年8月	7,330件	6,484件	846件	756件
令和7年9月	11,439件	9,903件	248件	1,271件
令和7年10月	9,502件	8,175件	189件	1,120件
令和7年11月	2,705件	2,311件	65件	320件
令和7年12月	931件	799件	22件	107件
令和8年1月	1,696件	1,469件	33件	185件
令和8年2月	1,381件	1,151件	39件	166件
計	39,435件	33,478件	756件	4,406件

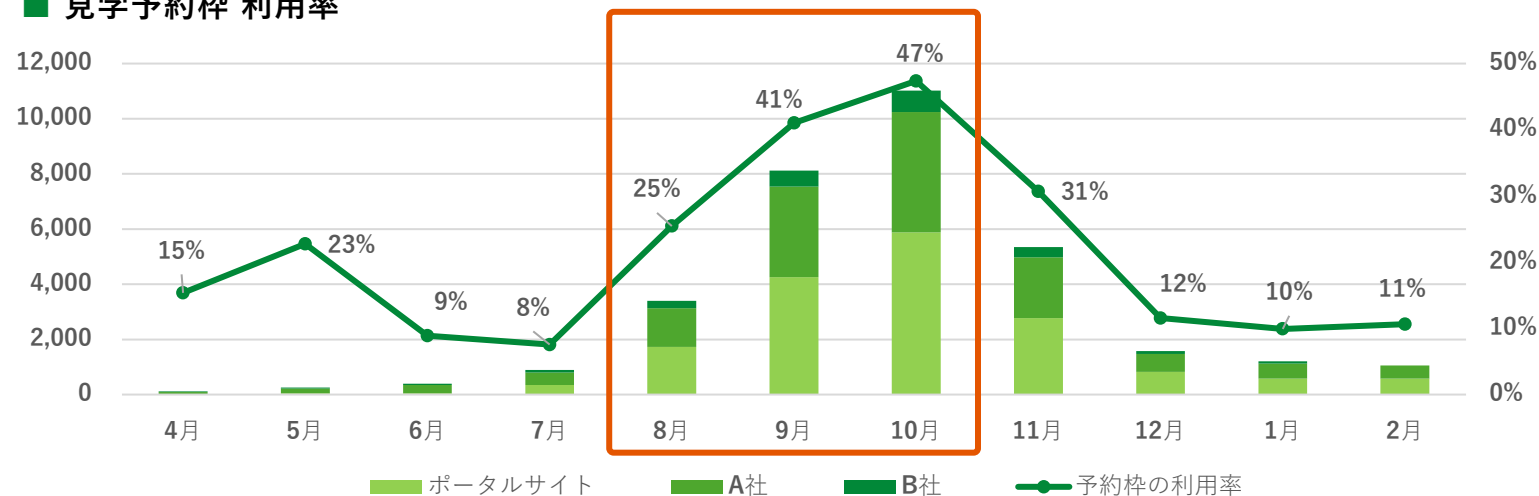
見学予約数は、4月入園に向けた保活ピーク期にあたる8月～10月にかけてが最も多く、9月の予約総件数は1万件を超え、11,439件であった。利用者については7月の自治体・保育施設拡充後、順調に増加していることが確認できる。

また、同時期においては予約キャンセルについても他の月と比較して多く発生したが、おおよそ予約総数の11%～12%である。

11月以降は令和8年4月入園の一次申込締切が近づくにつれて、予約数は減少傾向にあるが、一定の見学予約の申込みが行われている。

年間を通じて申請の84.9%の予約が承認されており、見送り/予約キャンセルは13.1%と低く、概ね予約通りに見学が実施されている。

■ 見学予約枠 利用率



見学予約枠利用率については、4月入園に向けた保活のピーク期にあたる8月～10月にかけて上昇している。

4月は利用自治体が3自治体に限られていたこともあり、15%と低水準であった。

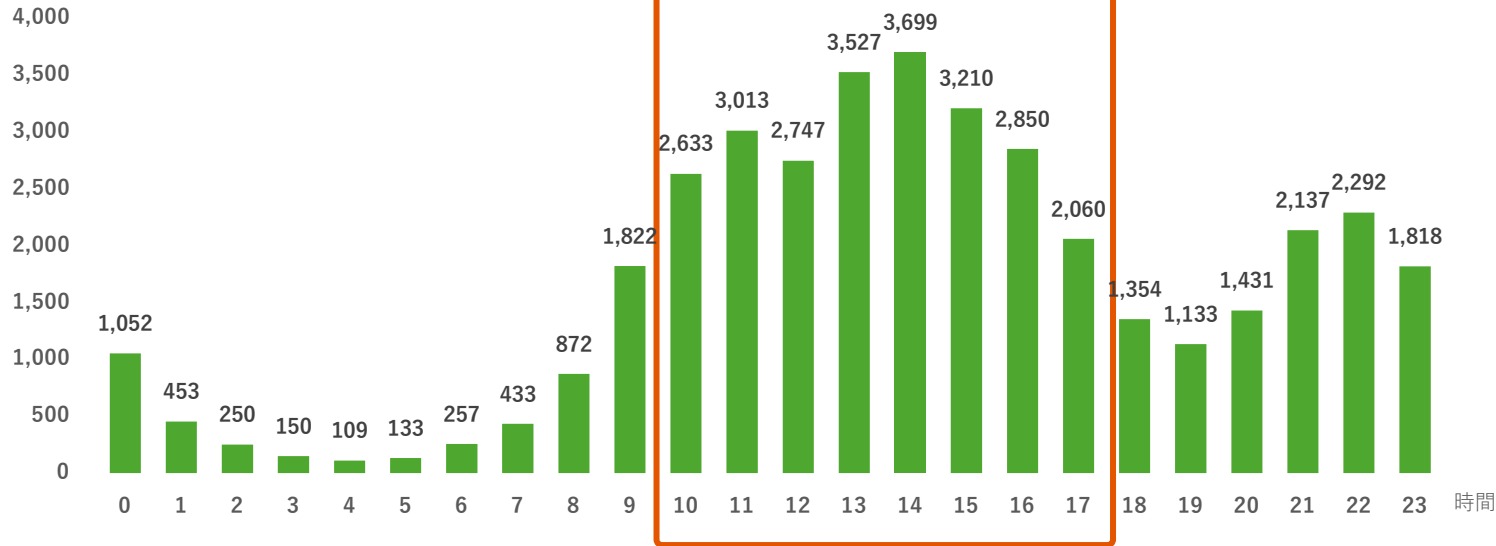
7月の自治体および保育施設の拡充以降は、各システムでの予約件数が増加し、利用率は増加基調となった。特に9月・10月はポータルサイトに加え、A社、B社ともに予約件数が大きく増加し、見学予約枠の利用率は9月に41%、10月には47%と高い水準で推移したことが確認できる。

11月以降は保活のピークを過ぎたことで利用率が低下し、12月以降は10%台へと落ち着いた。見学予約枠の利用率は保活の時期に応じて大きく変動するため、今後も需要変動を見据えた予約枠設定や運用の最適化が求められる。

保活情報連携基盤 (2/3)

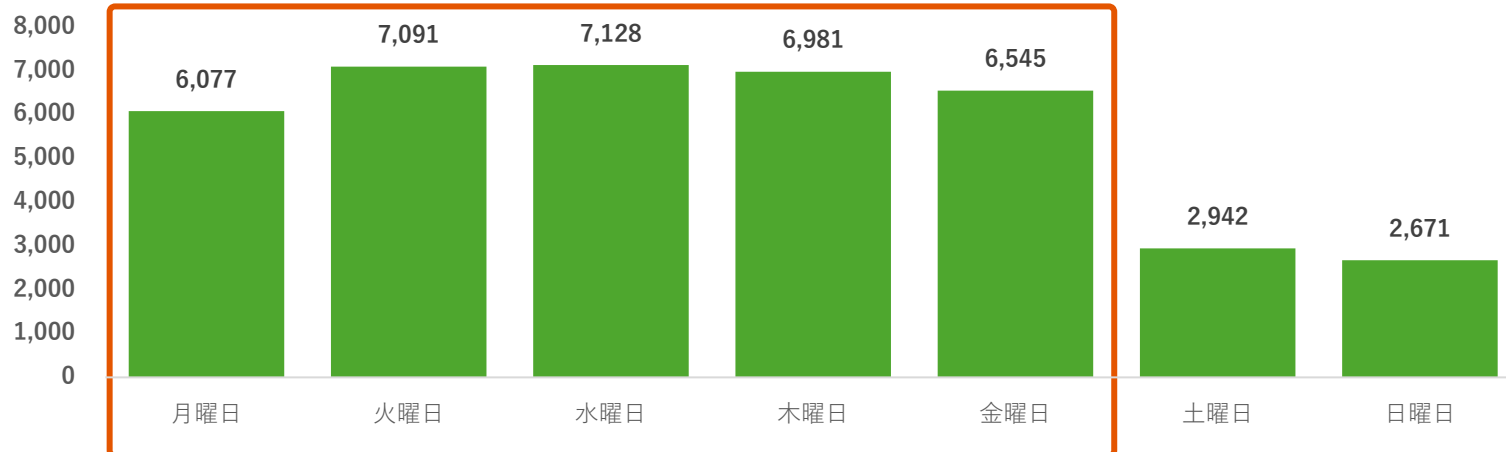
保護者がシステムから見学予約申請を行う時間帯及び曜日については以下の通りである

■見学予約申請時間帯別



見学予約申請は、日中帯（9時～17時）に集中しており、全体の60%を占めている。特に午前10時から午後5時にかけて申請数が増加しており、家事育児の合間に見学予約申請を行っている状況が確認できる。一方、夜間帯（19時～23時）における申請も全体の22%を占めており、日中に時間を確保しづらい保護者による申請が一定数存在していることが分かる。深夜・早朝帯にも少数ながら申請が見られ、保育施設が閉園している時間帯においても申請可能な仕組みが活用されている。

■見学予約受付曜日別

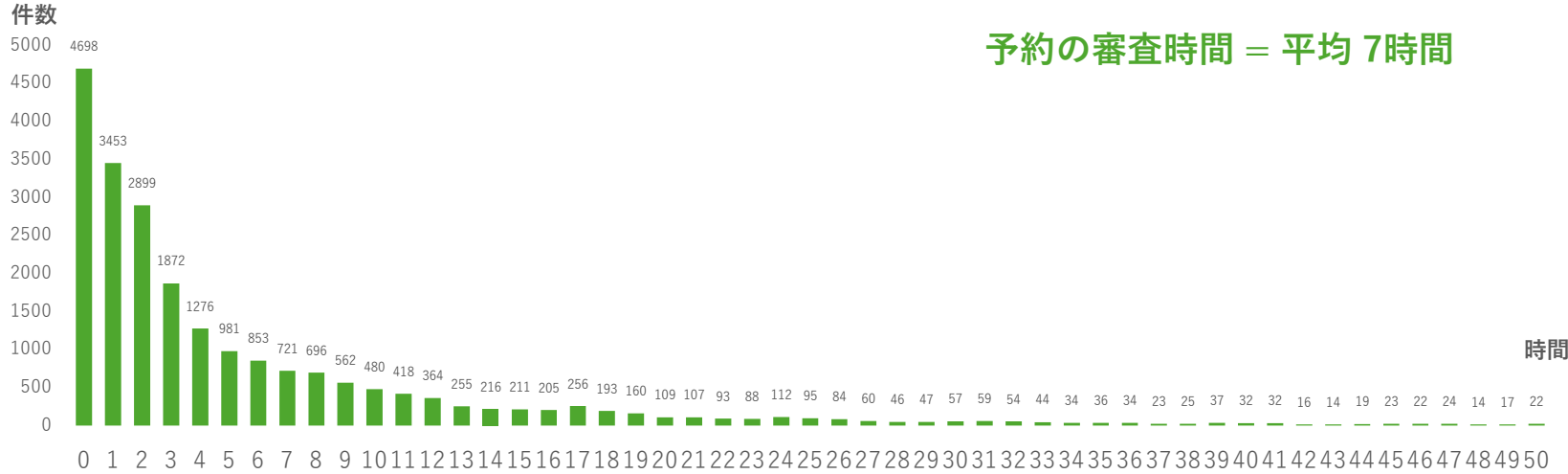


見学予約受付は、平日に多く、土曜日、日曜日には少ない傾向が見られる。月曜日から金曜日にかけてはいずれも申請件数も多く、特定の曜日に申請が極端に集中することなく、平日を通じて安定した受付状況となっている。土曜日および日曜日の申請件数は平日と比較して少ないものの、一定数の申請は継続して発生しており、保育施設が閉園している休日においてもシステムの需要があることが確認できる。全体として、受付曜日別の傾向は利用者の行動特性と整合しており、年間を通じて見学予約は曜日に偏ることなく安定的に受け付けられている。

保活情報連携基盤 (3/3)

見学予約審査時間の分析および見学希望日迄の時間については以下の通りである

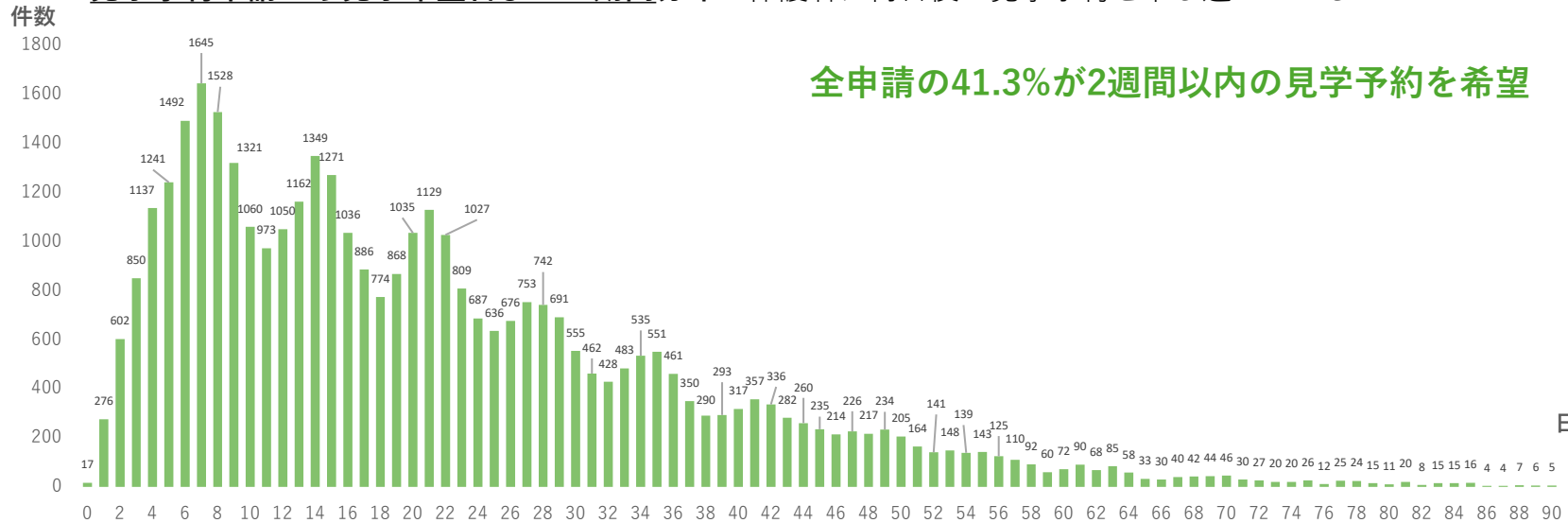
■ **見学予約の審査時間分布** 保育施設が見学予約の審査にどれくらいの時間で対応しているか



- **57.2%**の予約が**3時間以内**に審査されている
 - **94.2%**の予約が営業時間の**24時間以内**で審査完了している
- ※営業時間：土日祝を除いた7:00~19:00

※p99パーセンタイルでの平均値算出

■ **見学予約申請から見学希望日までの期間分布** 保護者は何日後の見学予約を申し込んでいるか



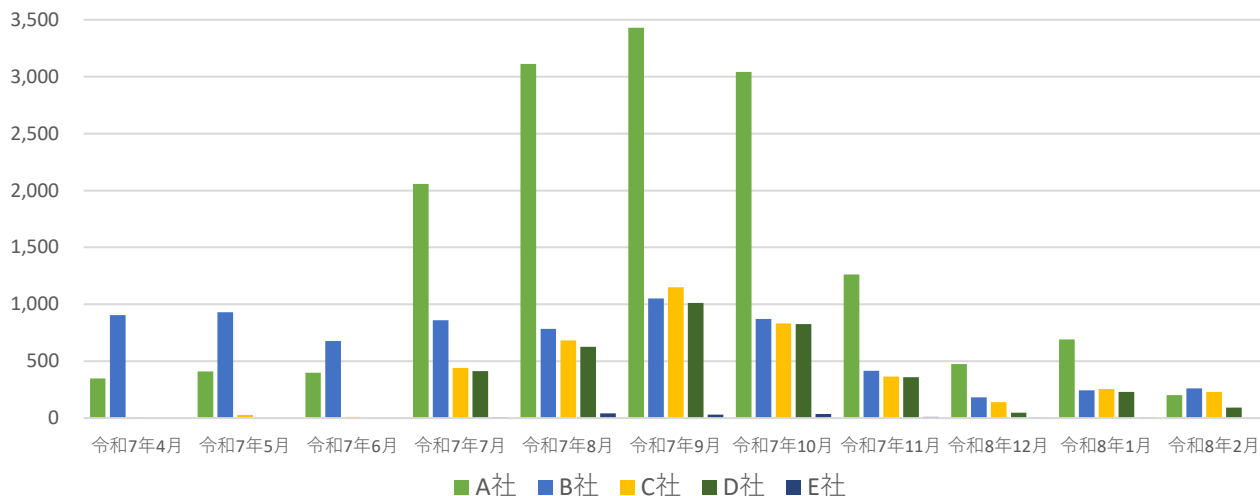
- 申請日から**2週間以内**の見学希望日で申請された予約 = **全体の41.3%**
- **30日以上**先の予約 = **全体の23.1%**

※3か月先の予約が最長

業務システムの利用状況

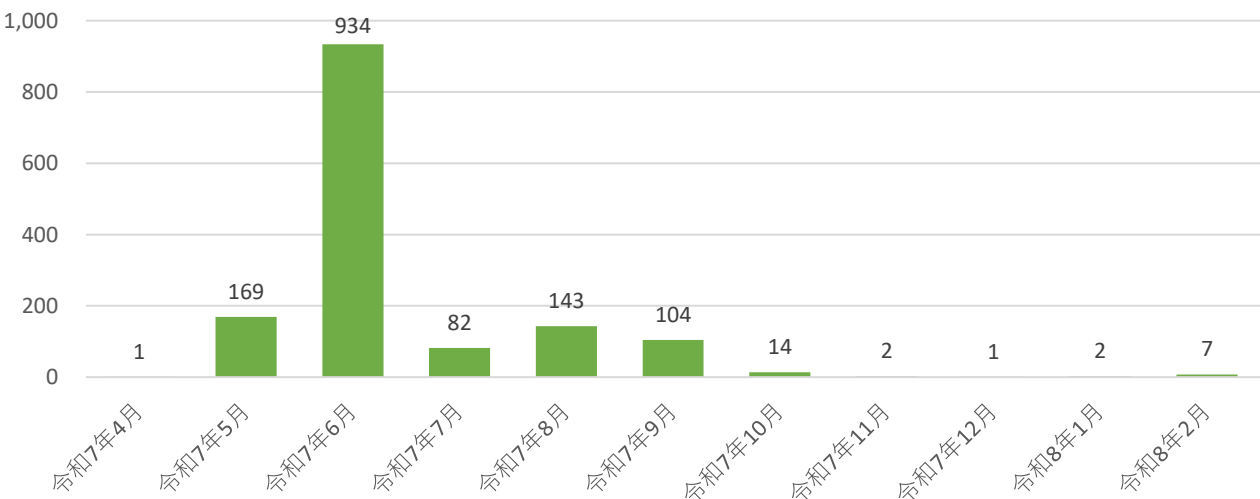
保育ICTシステムから施設情報・見学予約システムへのクリック数、および自治体の活動については以下の通りである

■ 保育施設の活動（保育ICTのクリック数）



保育ICTシステム	令和7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年1月	2月	合計
A社	347	409	399	2,059	3,111	3,429	3,041	1,263	474	691	202	15,425
B社	905	930	677	859	783	1,051	872	416	183	245	260	7,181
C社	7	28	12	441	684	1,150	832	365	139	256	231	4,145
D社	0	0	0	413	627	1,013	827	360	46	229	92	3,607
E社	0	0	0	9	43	31	36	11	5	4	3	142

■ 自治体の活動（施設情報変更の承認数）



● 保育施設の活動（保育ICTのクリック数）

4月～6月については、令和6年度から継続参画している保育ICTシステム3社（A～C社）が利用対象であった。7月の自治体および保育施設の拡充後は、新たにD社・E社の保育ICTシステムが追加され、見学予約申請数の増減に比例して、これらのシステムから「施設情報・見学予約システム」へのアクセス数も増減した。

予約内容の確認などにより保育ICTシステムへのアクセスは一定頻度で発生するため、予約数が特に少なかった12月以降も一定のアクセスが見られた。さらに、保育ICTシステムは保育施設ごとに導入状況が異なることから、期間内のクリック数にはシステム間で大きな差が生じた。

● 自治体の活動（施設情報変更の承認数）

保育施設向け説明会の終了後、5月後半～6月にかけて施設情報の変更依頼が多数寄せられ、2か月で1,103件の承認が行われた。9月には保育施設の追加参加申し込みがあったことから、8月および9月にもそれぞれ約140件の承認対応が行われている。一度承認された施設情報は大幅な変更が生じることが少ないため、10月以降の承認件数は一桁に減少した。

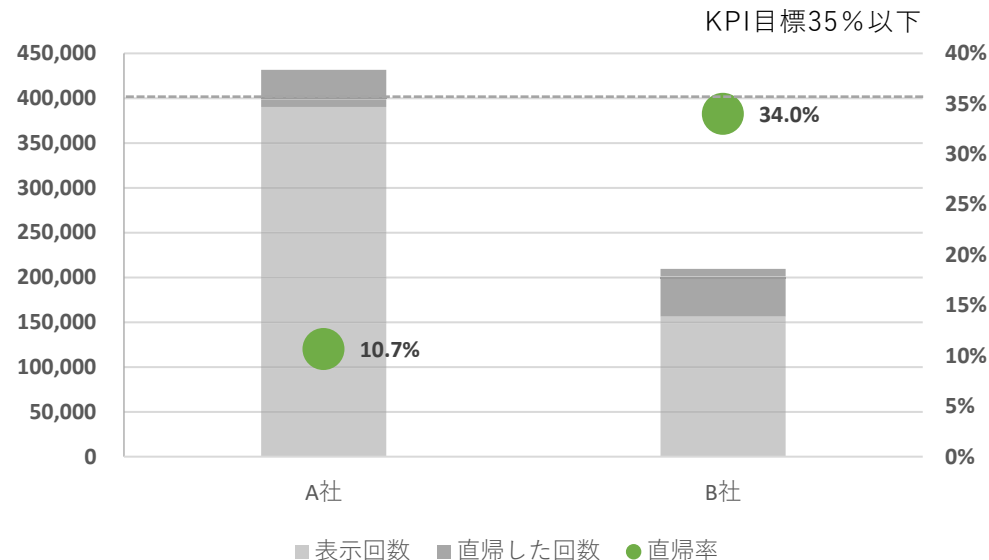
民間保活システムの利用状況

各民間保活システムより抽出したデータ（令和7年4月1日～令和8年2月28日）から分かる運用実績は以下の通りである

■直帰率

民間保活システム	表示回数	直帰した回数	直帰率
A社	390,075	41,610	10.7%
B社	156,439	53,151	34.0%
合計	546,514	94,761	17.3%

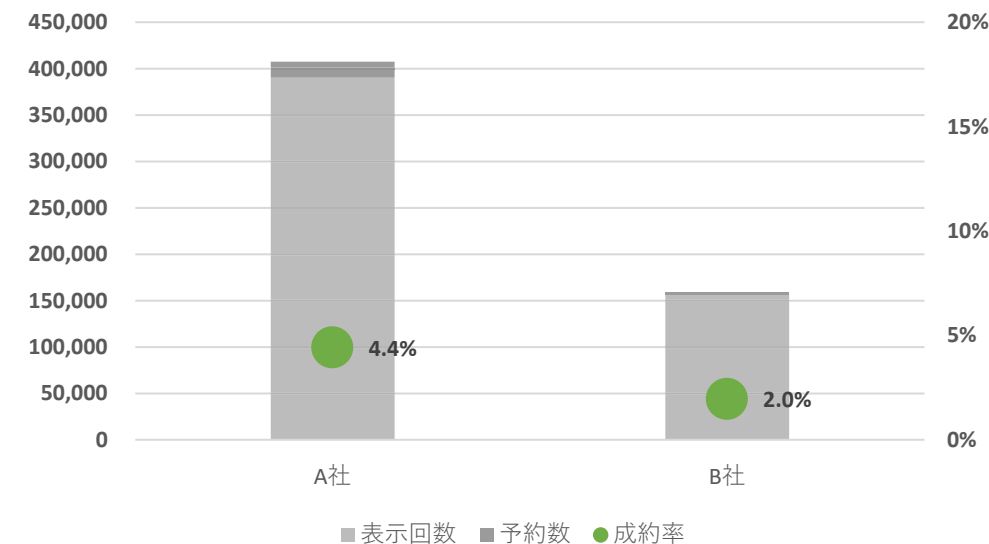
民間保活システムの直帰率に関しては、KPI目標値として35%以下を設定していたが、A社 **10.7%**、B社 **34.0%**と双方で目標値をクリアした。



■施設情報の表示から見学予約に至る成約率

民間保活システム	表示回数	予約数	成約率
A社	390,075	17,260	4.4%
B社	156,439	3,054	2.0%
合計	546,514	20,314	3.7%

民間保活システムの施設情報の表示から見学予約に至った成約率に関しては、A社 **4.4%**、B社 **2.0%**となった。



保活オンライン相談の利用状況

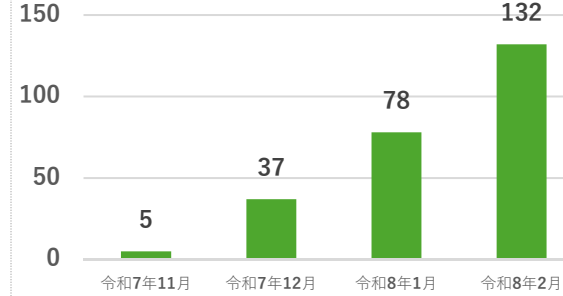
相談予約の申請状況（令和7年12月20日～令和8年2月28日）は以下の通りである

■ オンライン相談予約概況

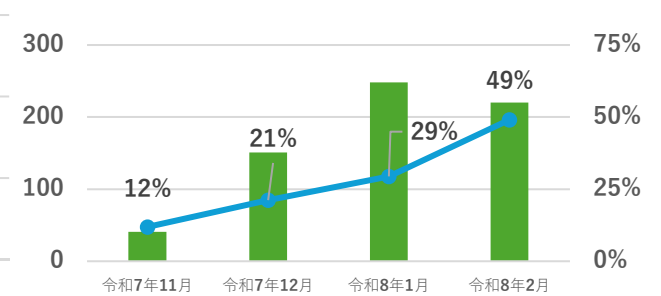
予約ステータス	令和7年11月	令和7年12月	令和8年1月	令和8年2月	計
予約承認数	5	32	73	108	218
予約見送り数	0	0	4	1	5
予約キャンセル数	0	5	1	23	29
予約総数	5	37	78	132	252

11月20日のリリース直後から相談予約が申請されており、1月においては予約申請数78件、承認数は73件と93.6%が予定通りに実施されている。2月には予約申請数132件と、1月と比較しても約2倍の相談予約の申請が行われており、順調に利用者が増加している傾向にある。

■ 予約総数月別

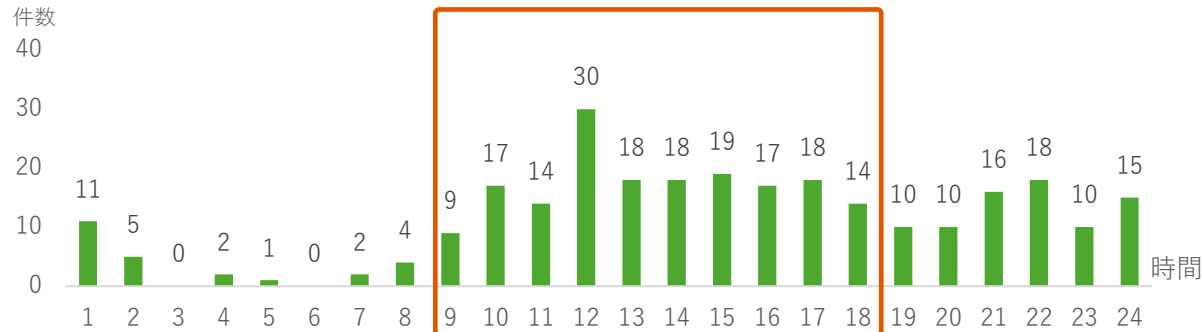


■ 予約枠の利用率



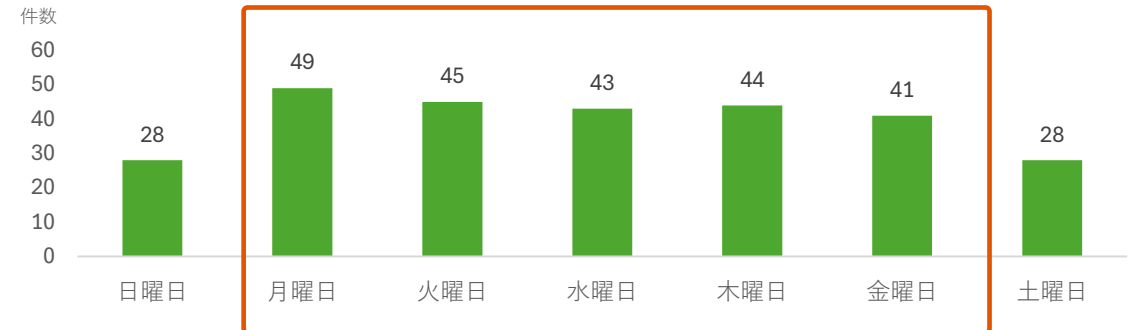
相談予約枠の利用率については全体の20%～50%で推移している。自治体によって差はあるが、予約枠に十分な余裕があり、保護者にとっても希望に沿った候補日時を選択しやすい状況であった。2月は利用者が急増した影響により利用率が49%と高水準で推移しているものの、現時点では枠不足などの問題は確認されていない。

■ オンライン相談予約枠受付時間別



相談予約について、日中帯（9時～18時）の申請数が全体の約63%を占めている。深夜・早朝帯にも少数ながら申請が見られ、閉庁後・開庁前の時間帯においても申請可能な仕組みが活用されている。

■ オンライン相談受付曜日別

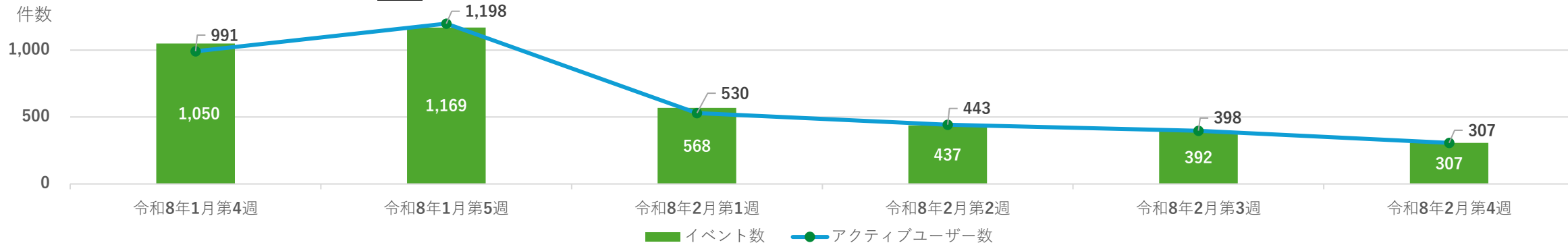


曜日別については、大きな差は見られないが、土日よりも平日の申請が多い。一定土日の申請もあり、自治体の開庁時間外でも保護者の都合の良い時間帯で相談予約申請が行われている。

指数シミュレーションの利用状況

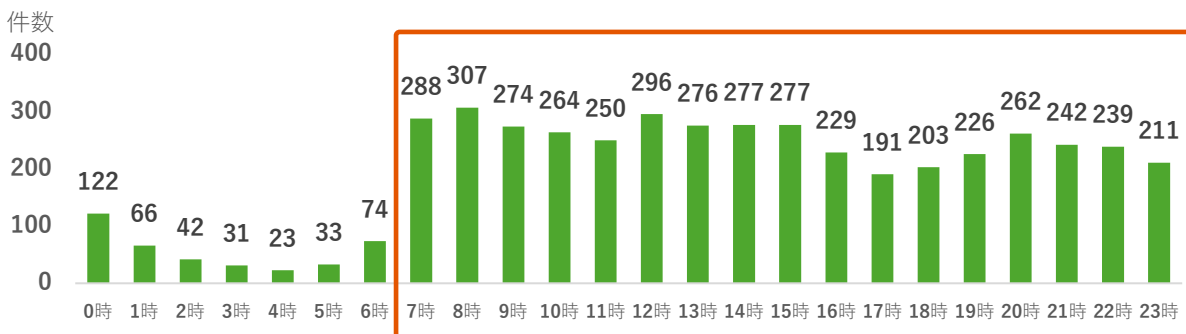
指数シミュレーションの利用状況（令和8年1月21日～令和8年2月28日）は以下の通りである

■ 指数シミュレーションアクセス数 週別



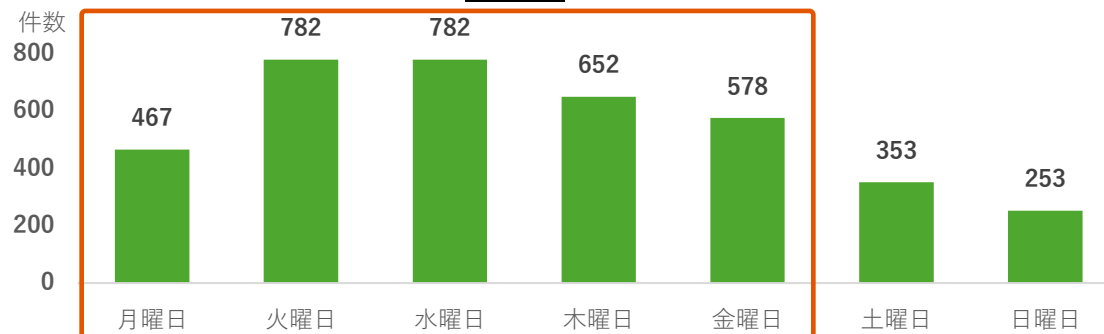
令和8年1月4週のリリース直後には1,050回のアクセスが確認され、アクティブユーザー数も同水準で推移した。チャット形式のUIであることから、ユーザーが複数回連続して操作するケースが少ないことが確認出来る。また、1月27日には杉並区が区の公式LINEで指数シミュレーションについて発信を行ったことから、1月5週には1,169回のアクセスが発生した。2月以降の週間アクセス数は、概ね400回前後で推移している。

■ 指数シミュレーション利用 時間別



時間帯別については7時-23時まで大きな差は見られず、概ね200件前後の利用が安定して発生していることが確認出来る。また、深夜・早朝帯についても、少数ながら利用が見られ、全時間帯にわたり一定の利用があることが分かる。

■ 指数シミュレーション利用 曜日別



曜日別については、大きな差は見られないが、土日と比較すると平日の利用が多い傾向が確認された。また、時間帯および曜日のいずれにおいても、保護者の都合の良い時間帯に集中していることが分かる。

5

効果測定

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

実施概要

保活ワンストップサービス（施設検索から見学予約、入園申請までの一連の手続きのワンストップ化）について、TYPES実施計画に定めたKPIを測定するため、参加ユーザー（保護者）を対象に以下のとおり計測を実施した

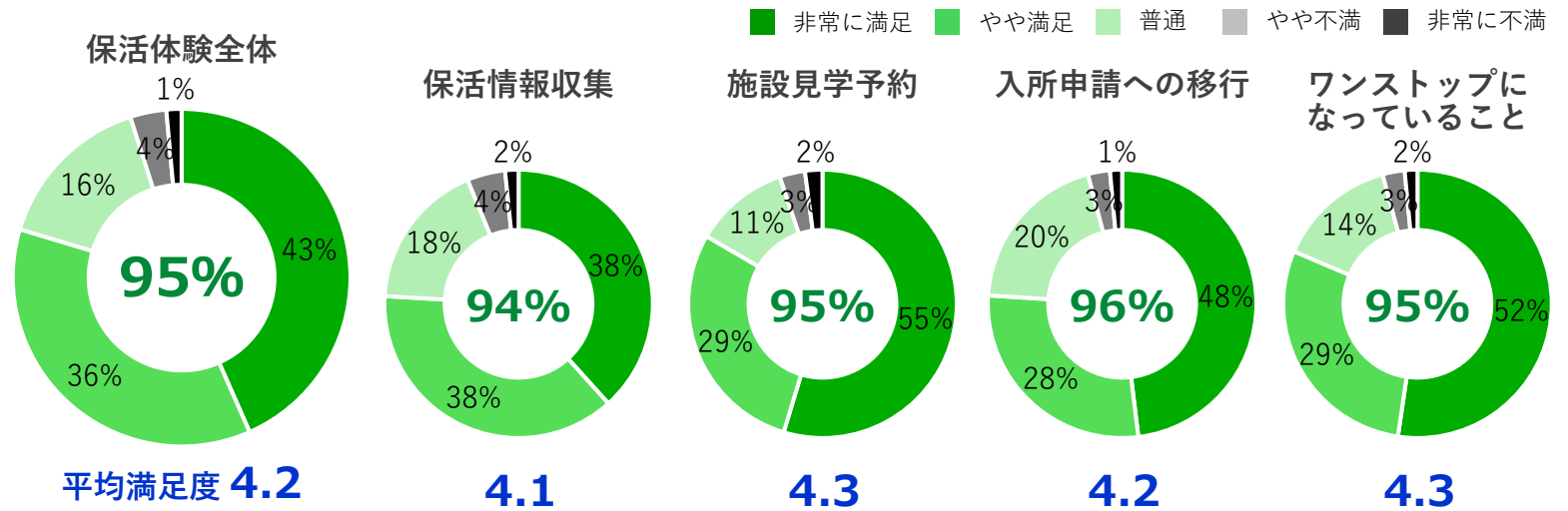
	自治体の窓口に来所した保護者	Webアンケート
概要	<ul style="list-style-type: none">・スマホで保活ワンストップサービスを体験（情報収集・見学予約・入所申請ページへの移行）・対面により「体験後アンケート」を実施	<ul style="list-style-type: none">・参加保育施設にて見学を終えた保護者にWebアンケートの二次元コードを案内して回答いただく
実施期間	令和7年10月2日（木）～11月27日（木）	令和7年10月1日（水）～令和8年2月27日（金）
実施場所	連携自治体の15区市（各1営業日） ※含まれない4区市では新規機能のユーザビリティテストを実施	保護者が自身の端末からWebアンケートにアクセスして回答
対象者	令和8年度4月入所申請手続のため、自治体窓口に来所した保護者	保活ワンストップサービスの予約機能を利用して保育施設に見学予約し、来園した保護者
対象者数	178人	1,064人

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

結果概要

保活ワンストップサービスを利用した満足度

- 保活ワンストップサービスを利用した場合の保活体験全体の満足度は、5段階評価で平均**4.2**、3以上が**95%**の高評価
- 各工程のサービスやワンストップであることに対する満足度は、平均**4.1~4.3**、3以上が**94~96%**で、満足度に係る全てのKPI目標値を上回った
- そのほか、「施設見学予約を電話と比較した場合の効率性」については、平均4.5、3以上が94%、「操作の分かりやすさ」については、平均4.4、3以上が96%の評価であった



保活ワンストップサービスを利用した所要時間

- 81%の方が所要時間が15h以下と回答し、KPI目標値を概ね達成
- ②保活情報収集と③見学予約も、71%の方が所要時間が4h以下と回答し、KPI目標値を概ね達成

※ 保活の工程と平均的な所要時間は、①役所相談(10h)、②保活情報収集(7h)、③見学予約(1h)、④見学(5h)、⑤希望施設決定(3h)、⑥申請書類作成(5h)の合計約31時間程度といわれる（一般社団法人こどもDX推進協会調べ）

所要時間の削減率

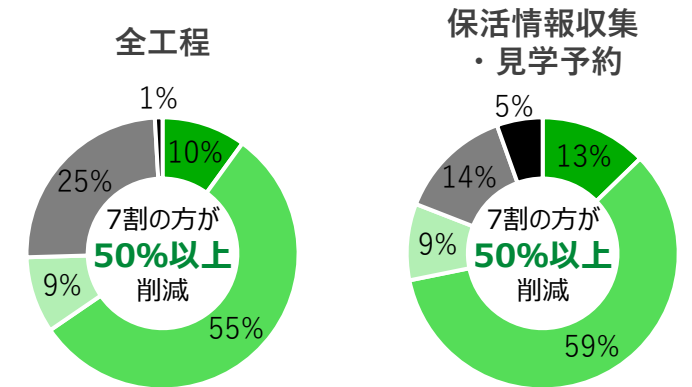
- 保活工程の所要時間について、サービス利用前と利用後で7割の方が50%以上削減

【KPI】 所要時間

	全工程	保活情報収集・見学予約
保活ワンストップ利用なし*1	31h	8h
保活ワンストップ利用あり	15h以下が81%	4h以下が71%

*1 一般社団法人こどもDX推進協会調べ

所要時間の削減率*2



*2 サービスを使用せずに保活をした経験がある方について集計（n=110）

80%以上 50~80% 30~50% 0~30% 増加

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

結果概要

満足度（％）は、5段階評価で3以上をつけたユーザーの割合。（ ）内は5段階評価の平均満足度

項目	詳細項目	基本目標値	設問	満足度
満足度	保活情報収集 ※入園に関する手続情報等や 保育園の施設情報	70%以上	Q1 保活ワンストップサービスで保活情報を収集してみた際の満足度を教えてください	94%
			Q2 保活ワンストップサービスで、あなたの欲しかった保活情報は得られたと思いますか	93%
			Q3 保活ワンストップサービスで、複数の保育園の必要な保活情報をまとめて得ることができたと思いますか	93%
	各工程ごとの満足度 施設見学予約	70%以上	Q4 保活ワンストップサービスで見学予約をしてみた際の満足度を教えてください	95%
			Q5 保活ワンストップサービスでの見学予約は、電話予約よりも効率が良いと思いますか	94%
			Q6 保活ワンストップサービスでの見学予約は、見学日時の検討や、園に伝えておきたいことなどの連絡が しやすいと思いますか	92%
			Q7 保活ワンストップサービスでの見学予約は、操作がわかりやすいと思いますか	96%
	入所申請	70%以上	Q8 保活ワンストップサービスから自治体の入園申請ページにとべると、入園申請ページを検索して アクセスするよりも簡単だと思いますか	96% (4.2)
	各工程を同一サイト上でワンストップで 実施できることに対する満足度	70%以上	Q9 保活情報の収集・見学予約・入園申請ページへの移行まで、1つのサイト上でできることについて 満足度を教えてください	95% (4.3)
	保活体験全体に対する満足度	70%以上	Q10 保活ワンストップサービスで保活情報の収集・見学予約・入園申請ページへの移行を体験して、 全体としての満足度を教えてください	95% (4.2)
所要時間	各工程ごとの所要時間 ※保活の全工程	合計15時間 以下	Q11 保活ワンストップサービスを活用した場合の保活全体にかかる所要時間を教えてください	合計15時間 以下が81%
	保活情報収集	合計4時間 以下	Q12 保活ワンストップサービスを活用して入園に関する手続情報を収集する場合の所要時間を教えてください	合計4時間 以下が71%
			Q13 保活ワンストップサービスを活用して保育園の情報を収集する場合の所要時間を教えてください ※当該参加ユーザーの1園あたりの情報収集の所要時間×当該参加ユーザーが情報収集した園数により算出	
	施設見学予約	合計4時間 以下	Q14 保活ワンストップサービスを活用して保育園の見学予約をする場合の所要時間を教えてください ※当該参加ユーザーの1園あたりの情報収集の所要時間×当該参加ユーザーが情報収集した園数により算出	
入所申請 ※入所申請ページへの移行	—			

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

表章単位未満で四捨五入しています。
このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

結果詳細

【保活ワンストップサービスを活用した保活情報収集】

Q1 保活情報（施設情報や手続情報）
を収集してみた満足度 **【94%】**

Q2 欲しかった保活情報は得られたか
【93%】

Q3 複数園の必要な保活情報をまとめ
て得ることができたか **【93%】**

回答	回答数	比率
5 非常に満足	476	38%
4 やや満足	467	38%
3 ふつう	222	18%
2 やや不満	57	5%
1 非常に不満	20	2%
合計	1242	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	412	33%
4 やや満足	470	38%
3 ふつう	277	22%
2 やや不満	66	5%
1 非常に不満	17	1%
合計	1242	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	479	39%
4 やや満足	422	34%
3 ふつう	252	20%
2 やや不満	74	6%
1 非常に不満	15	1%
合計	1242	100%

【保活ワンストップサービスを活用した見学予約】

Q4 見学予約をしてみた満足度 **【95%】**

Q5 電話予約よりも効率が良いか **【94%】**

Q6 見学日時の検討や園に伝えておきたい
ことなどの連絡がしやすいか **【92%】**

Q7 操作がわかりやすいか **【96%】**

回答	回答数	比率
5 非常に満足	679	55%
4 やや満足	357	29%
3 ふつう	142	11%
2 やや不満	38	3%
1 非常に不満	26	2%
合計	1242	100%

回答3	回答数	比率
5 非常に満足	883	71%
4 やや満足	202	16%
3 ふつう	84	7%
2 やや不満	41	3%
1 非常に不満	32	3%
合計	1242	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	651	52%
4 やや満足	328	26%
3 ふつう	165	13%
2 やや不満	71	6%
1 非常に不満	27	2%
合計	1242	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	746	60%
4 やや満足	287	23%
3 ふつう	156	13%
2 やや不満	28	2%
1 非常に不満	25	2%
合計	1242	100%

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

表章単位未満で四捨五入しています。
このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

結果詳細

【保活ワンストップサービスから 入園申請ページへの移行】

Q8 入園申請ページへの移行は、入園申込ページを検索してアクセスするよりも簡単【96%】

回答	回答数	比率
5 非常に満足	597	48%
4 やや満足	347	28%
3 ふつう	247	20%
2 やや不満	33	3%
1 非常に不満	18	1%
合計	1242	100%

【ワンストップで実施できること】

Q9 保活の情報収集・見学予約・入園申請ページへの移行まで1つのサイト上でできることの満足度【95%】

回答	回答数	比率
5 非常に満足	650	52%
4 やや満足	361	29%
3 ふつう	179	14%
2 やや不満	33	3%
1 非常に不満	19	2%
合計	1242	100%

【保活ワンストップサービス全体】

Q10 保活の情報収集・見学予約・入園申請ページへの移行を体験して、全体としての満足度【95%】

回答	回答数	比率
5 非常に満足	539	43%
4 やや満足	450	36%
3 ふつう	192	15%
2 やや不満	43	3%
1 非常に不満	18	1%
合計	1242	100%

【所要時間（保活全体）】

Q11 保活ワンストップサービスを活用した場合の保活全体にかかる所要時間が15時間以下【81%】

回答	回答数	比率
5時間以下	463	37%
10時間程度	362	29%
15時間程度	183	15%
20時間程度	125	10%
30時間程度	109	9%
合計	1242	100%

【所要時間（情報収集・見学予約）】

Q12 保活ワンストップサービスを活用した場合の
手続情報収集にかかる所要時間

回答	回答数	比率
30分以下	346	28%
1時間程度	454	37%
1.5時間程度	127	10%
2時間程度	144	12%
3時間以上	171	14%
合計	1242	100%

Q13 保活ワンストップサービスを活用した場合の1園あたりの施設情報収集にかかる所要時間

回答	回答数	比率
10分以下	405	33%
15分程度	432	35%
20分程度	174	14%
30分程度	165	13%
40分以上	65	5%
合計	1242	100%

Q14 保活ワンストップサービスを活用した場合の1園あたりの
見学予約にかかる所要時間

回答	回答数	比率
3分以下	573	46%
5分程度	572	46%
10分以上	97	8%
合計	1242	100%

Q12～14※ 保活ワンストップサービスを活用した場合の
情報収集・見学予約にかかる所要時間が4時間以下【71%】

回答	回答数	比率
1時間以下	66	5%
1時間超過2時間以内	291	23%
2時間超過4時間以内	534	43%
4時間超過6時間以内	220	18%
6時間超過	131	11%
合計	1242	100%

KPI測定結果① 保活ワンストップサービス（参加ユーザー）

表章単位未満で四捨五入しています。
このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

結果詳細

【所要時間の削減率】

※体験会（10月～11月実施）にて、保活ワンストップサービスを利用せずに保活を経験したことがあると回答した方を対象に、保活ワンストップサービス利用時の所要時間削減率を集計

全工程

保活情報収集・見学予約

回答	回答数	比率
90%～	3	3%
80%～	8	7%
70%～	5	5%
60%～	19	17%
50%～	37	34%
40%～	0	0%
30%～	10	9%
20%～	5	5%
10%～	0	0%
0%～	22	20%
増加	1	1%
合計	110	100%

回答	回答数	比率
90%～	0	0%
80%～	14	13%
70%～	19	17%
60%～	29	26%
50%～	17	15%
40%～	6	5%
30%～	4	4%
20%～	5	5%
10%～	3	3%
0%～	7	6%
増加	6	5%
合計	110	100%

KPI測定結果② 保活ワンストップサービス（参加保育施設）

結果概要

調査対象

参加保育施設1,276園（有効回答800園） 調査期間：令和8年1月19日～2月9日

保活ワンストップサービス全体への満足度

- 5段階評価で平均**3.7**、**3以上が91%**の高評価

各機能の満足度

- 施設情報の登録/更新機能や見学予約機能等に関する満足度は平均3.6～3.8、評価3以上が90%以上の高評価。KPI目標値のオンラインでの施設見学予約に対する満足度70%以上を達成



- 電話対応が減った。空いた時間を他の業務に充てることができる



- 保護者に十分に浸透していないためか電話でも予約があることや、園独自のシステムも併用しており二重管理になっている

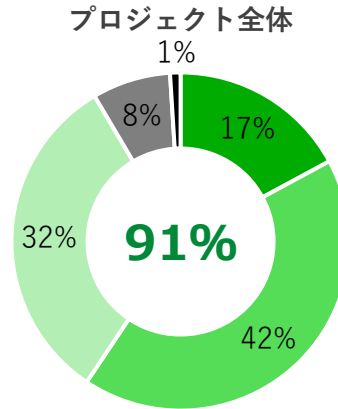
その他関連項目

- 施設見学予約に係る業務負担軽減について、オンライン予約を多く受け付けている保育施設ほど満足度が高い傾向
- 予約申請やキャンセル通知は、保育ICTか通知メールの主どちらで確認しているか聞いたところ、通知メールとの回答が多い
- 操作説明会は7割の園が必要だと回答している

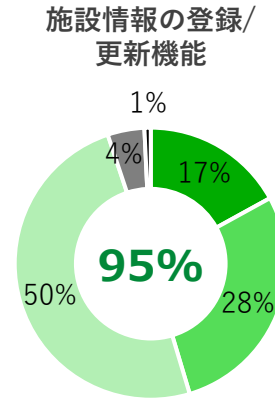
施設見学予約のオンライン申請率

- 施設見学予約のオンライン申請率は43%

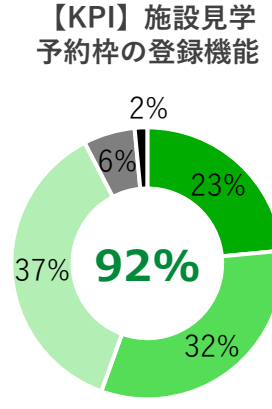
■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満



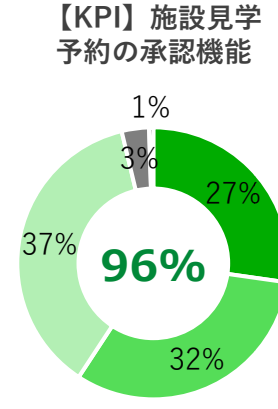
平均満足度 **3.7**



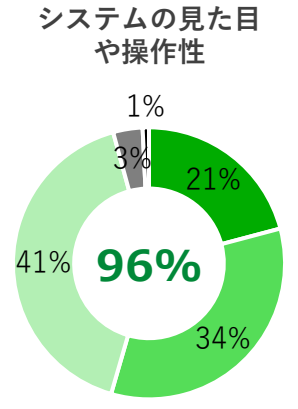
3.6



3.7

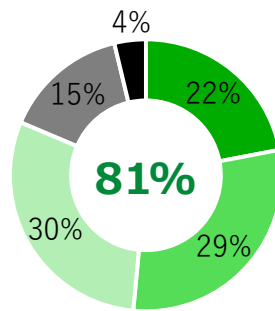


3.8



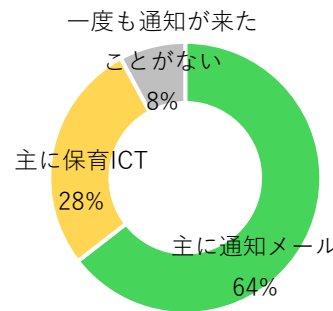
3.7

施設見学予約に係る業務負担が軽減したと思うか

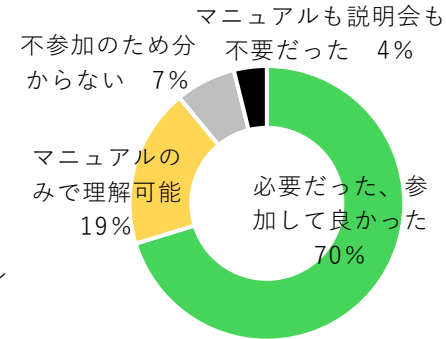


3.5

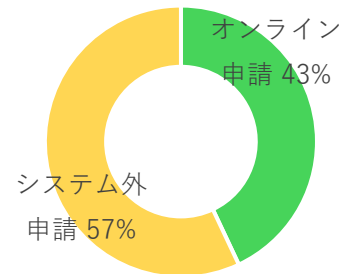
施設見学予約申請やキャンセル通知の確認手段



操作説明会が必要だったか



【KPI】施設見学予約のオンライン申請率（1/19時点）



※オンライン申請・・・本システムを利用した予約申請
 ※システム外申請・・・電話や園独自システムを利用した予約申請

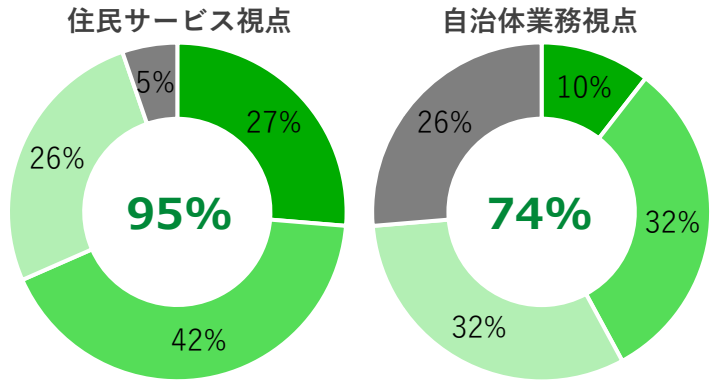
KPI測定結果③ 保活ワンストップサービス（連携自治体）

結果概要

調査対象 19連携自治体（有効回答19自治体） 調査期間：令和8年2月10日～2月25日

保活ワンストップサービス全体への満足度（5段階評価）

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満



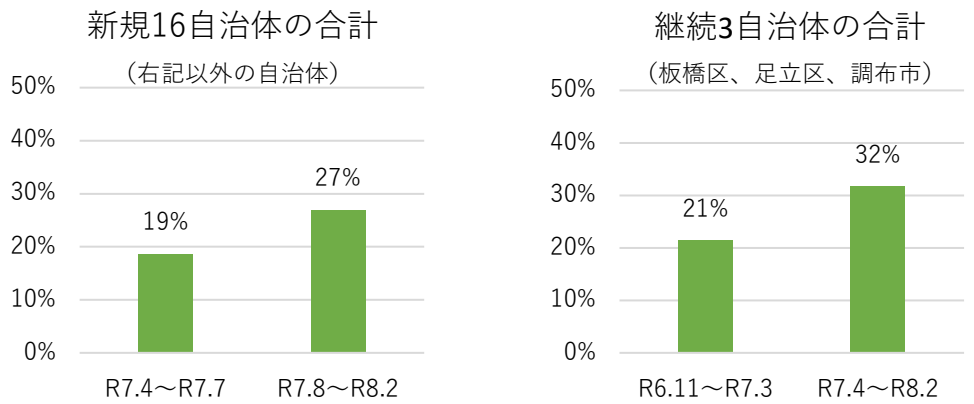
平均満足度 **3.9** **3.3**

- 時間や場所を問わず見学予約ができ、保活関連情報や手続きがワンストップで利用できる等、**保護者の負担軽減**に繋がったと感じる
- 一方で、**自治体の負担は増えた**との声もある

そのほか、「懸念事項であった保育施設職員のデジタルに対する苦手意識を、説明会の開催等によって一定程度解消いただいたことに非常に満足している」との声があった

（負担増の例）
月次空き枠登録の事務作業、保育施設への見学予約承認の依頼、会議への出席、保活関連手続き情報では自治体HPとの二重管理が生じたetc

随時入所申請のオンライン申請率



- 新規16自治体では、すべての自治体でオンライン申請率が上昇しているわけではないものの、**全体としては上昇している**
- 継続3自治体では、いずれも前年度比で**オンライン申請率が上昇**している

入所申請のオンライン化に伴う作業時間の削減

	紙受付分	電子申請受付分
【全体】	平均 36分	平均 34分（平均-2分）
【独自システム】（9自治体）	平均 39分	平均 32分（平均-7分）
【ぴったりサービス】（9自治体）	平均 28分	平均 30分（平均+2分）
【併用】（1自治体）	90分	90分（差分なし）

- 全体としては平均2分短縮だが効果は一様ではない
- 独自システムは平均7分短縮と削減傾向
- ぴったりサービスは、平均2分増加と、作業増の自治体が多い

KPI測定結果③ 保活ワンストップサービス（連携自治体）

表章単位未満で四捨五入しています。
このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

結果詳細

【保活ワンストップサービス全体への満足度】

Q1（住民サービス視点）保活ワンストップサービス全体の満足度 **【95%】**

Q2（自治体業務視点）保活ワンストップサービス全体の満足度 **【74%】**

【その他関連項目】

Q3 施設情報の承認機能の満足度 **【89%】**

Q4 保活関連手続き情報の登録機能の満足度 **【90%】**

回答	回答数	比率
5 非常に満足	5	27%
4 やや満足	8	42%
3 ふつう	5	26%
2 やや不満	1	5%
1 非常に不満	0	0%
合計	19	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	2	10%
4 やや満足	6	32%
3 ふつう	6	32%
2 やや不満	5	26%
1 非常に不満	0	0%
合計	19	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	3	16%
4 やや満足	2	10%
3 ふつう	12	63%
2 やや不満	2	11%
1 非常に不満	0	0%
合計	19	100%

回答	回答数	比率
5 非常に満足	3	16%
4 やや満足	3	16%
3 ふつう	11	58%
2 やや不満	2	10%
1 非常に不満	0	0%
合計	19	100%

【その他関連項目】

Q5 月次空き枠登録機能の満足度 **【58%】**

Q6 本システムの見た目や操作性の満足度 **【79%】**

Q7 業務負担軽減があったか

回答	回答数	比率
5 非常に満足	1	5%
4 やや満足	5	27%
3 ふつう	5	26%
2 やや不満	5	26%
1 非常に不満	3	16%
合計	19	100%

回答3	回答数	比率
5 非常に満足	1	5%
4 やや満足	4	21%
3 ふつう	10	53%
2 やや不満	4	21%
1 非常に不満	0	0%
合計	19	100%

回答	回答数	比率
はい	2	11%
どちらとも言えない	5	26%
いいえ	12	63%
合計	19	100%

効果測定結果 保活オンライン相談（参加ユーザー）

結果概要

調査対象

保活オンライン相談を利用した保護者（有効回答108件）

調査期間：11月20日～2月27日

保活オンライン相談全体への満足度

- 5段階評価で平均**4.6**、**3以上が98%**の高評価

その他関連項目

- 自治体が設定している予約枠数が多いほど、ユーザー満足度が高くなる傾向がある。一方で、予約枠の利用率が高いほど、ユーザー満足度は低くなる傾向が確認された
- これらの結果は、相談枠を十分に確保し、利用者が希望する時間帯を選択しやすくなることで満足度向上につながる可能性を示唆している



子ども連れて窓口に行くのは大変。自宅から相談できて良かった

- 事前に伝えた相談内容に沿って進めていただき、効率的
- 平日は仕事でも、オフィスから相談できて大変助かった
- ぜひ今後も続けて欲しい。どの自治体でもやって欲しい



- 子どもの朝寝、昼寝の時間に合わせて相談したいので、もう少し相談時間の選択肢が増えると良い
- 相談終了後に、資料を共有してもらえるととっても良い

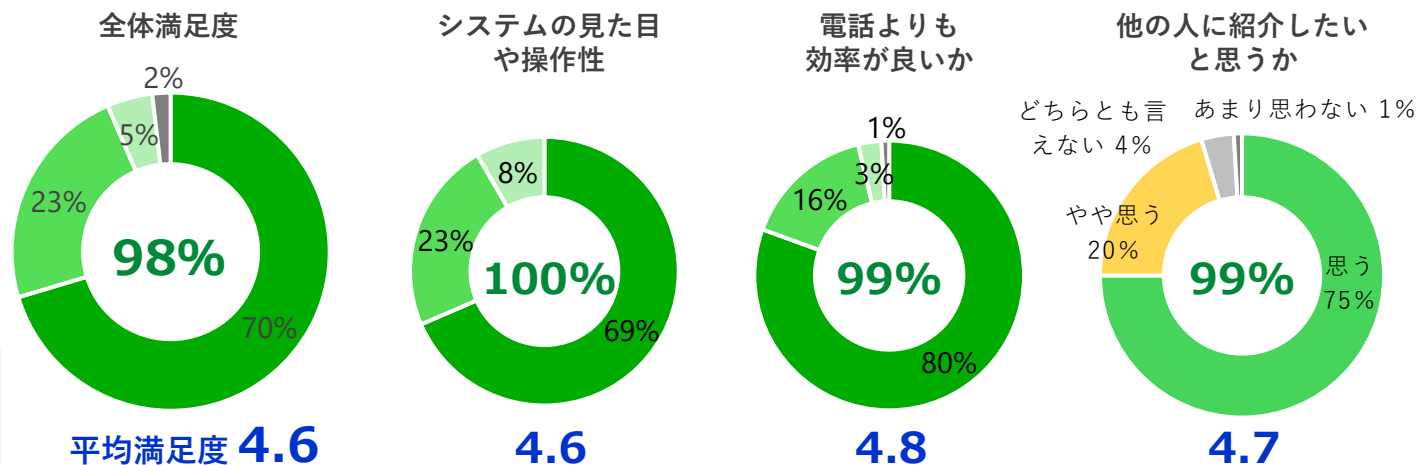
オンライン相談の良かった点・良くなかった点

- 保活オンライン相談の良かった点は、「窓口に行く時間と手間が省けた」が最多
- 一方で、「音声の遅延や、画面共有が上手くできない」ことが良くない点としてあげられた

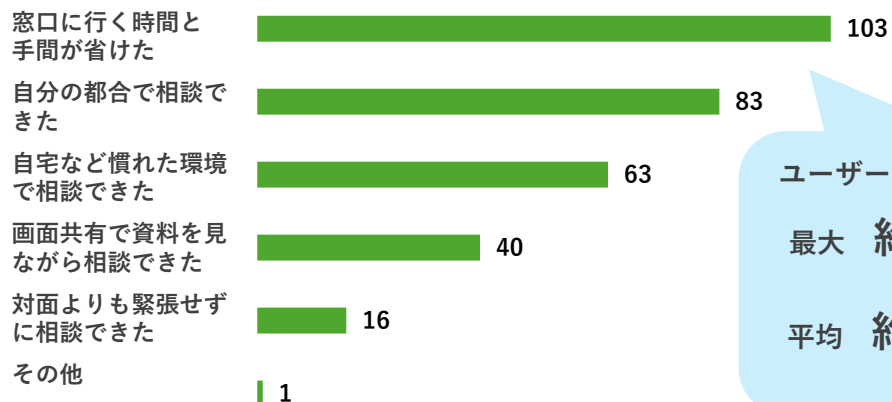
ユーザーの所要時間

- ユーザーの役所相談の所要時間は、**最大で約3時間40分削減**、**平均で約1時間30分の削減効果**があった

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満



保活オンライン相談の良かった点



ユーザーの所要時間

最大 **約3時間40分削減**

平均 **約1時間30分削減**

効果測定結果 保活オンライン相談（連携自治体）

結果概要

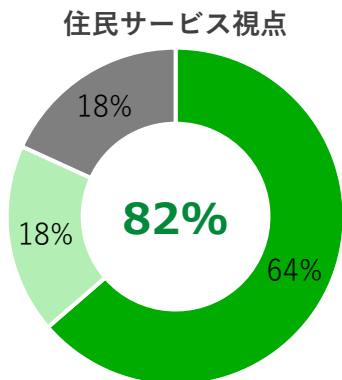
調査対象

保活オンライン相談を実施している11連携自治体（有効回答11自治体）

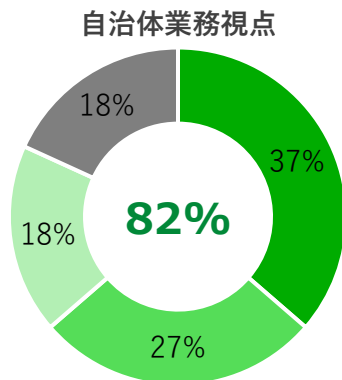
調査期間：令和8年2月10日～2月25日

保活オンライン相談全体への満足度

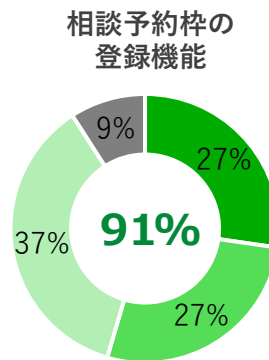
■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満



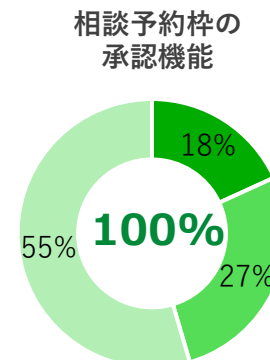
平均満足度 **4.1**



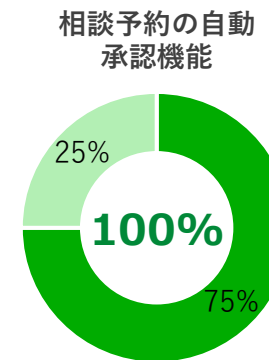
平均満足度 **3.8**



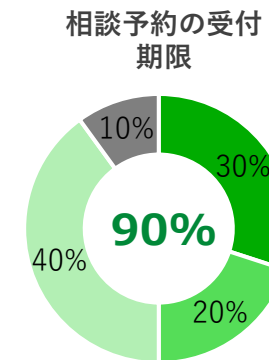
平均満足度 **3.7**



平均満足度 **3.6**



※未使用 7自治体
平均満足度 **4.5**



※未設定 1自治体
平均満足度 **3.7**



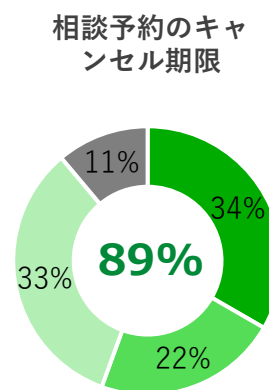
- 遠方に住んでいる場合や子どもを連れて窓口に来るのが困難な場合でも、自宅から相談できるので保護者の利便性は高い
- 事前に相談内容を把握できるため、準備をすることができ、効率的に説明ができる



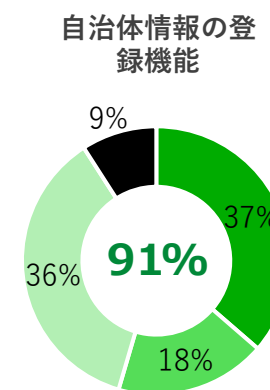
- 同時に窓口対応もしているため、職員の体制も考慮しながら、対応する必要がある

その他関連項目

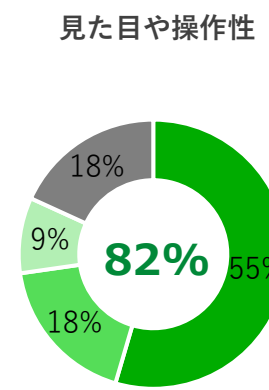
- 自治体業務視点の満足度については、予約枠の利用率が高いほど、満足度が高くなる傾向
- 事務負担の軽減があったと思う自治体は少ない
- 自動承認機能は、未使用の自治体が他機能と比べて多く、理由は「見逃し防止のため慣れるまでは使わない」、「相談内容によって担当を割り当てるため、申請内容の確認が必要」等であった



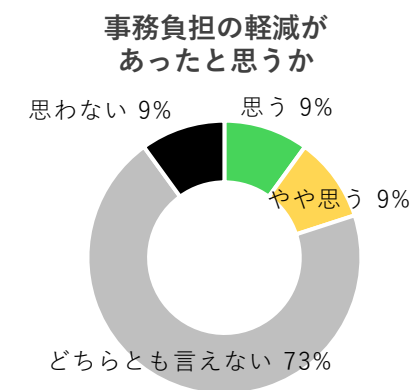
※未設定 2自治体
平均満足度 **3.1**



平均満足度 **3.7**



平均満足度 **4.1**



効果測定結果 指数シミュレーション（参加ユーザー）

結果概要

調査対象

指数シミュレーションを利用した保護者（有効回答29件）

調査期間：令和8年1月20日～2月27日

指数シミュレーション全体への満足度

- 5段階評価で平均**4.1**、**3以上が83%**の評価



- サクサク進めることができた
- 回答を入力する形式ではなく、選択する形式だったのが簡単で良かった



- 設問が行政文書そのままだと直感的には分かりにくい

その他関連項目

- 操作の分かりやすさについては、4.7、3以上が97%で、特に評価が高かった
- そのほか、自分で計算する場合と比較した便利さや他の人に紹介したいと思うかについては、平均4.3~4.5、3以上が90%以上の評価だった

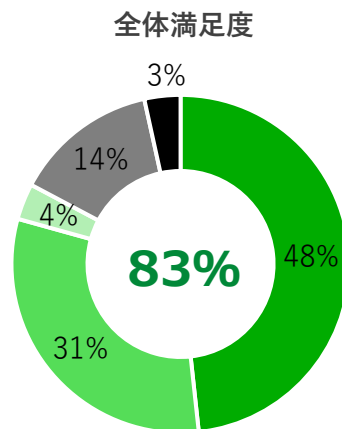
指数シミュレーションの良かった点・良くなかった点

- 指数シミュレーションの良かった点は、「質問に答えるだけで簡単に試算ができたこと」が最多
- 一方で、「質問が分かりにくかった、どの選択肢を選んだら良いか分からなかった」ことが良くなかった点としてあげられた

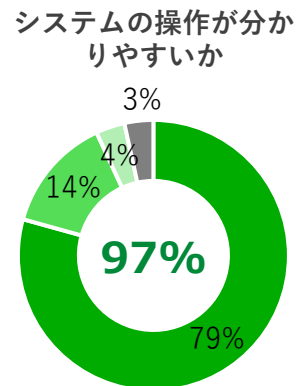
ユーザーの所要時間

- ユーザーの保育指数計算の所要時間は、**最大で約30分削減**、**平均で約10分の削減効果**があった

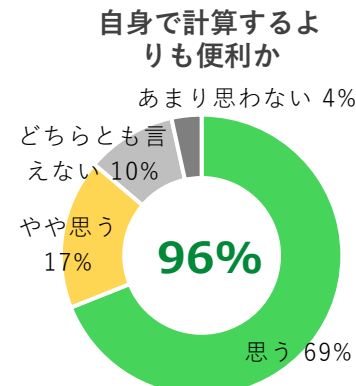
■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満



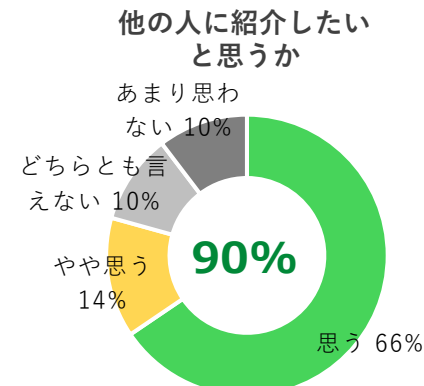
平均満足度 **4.1**



4.7

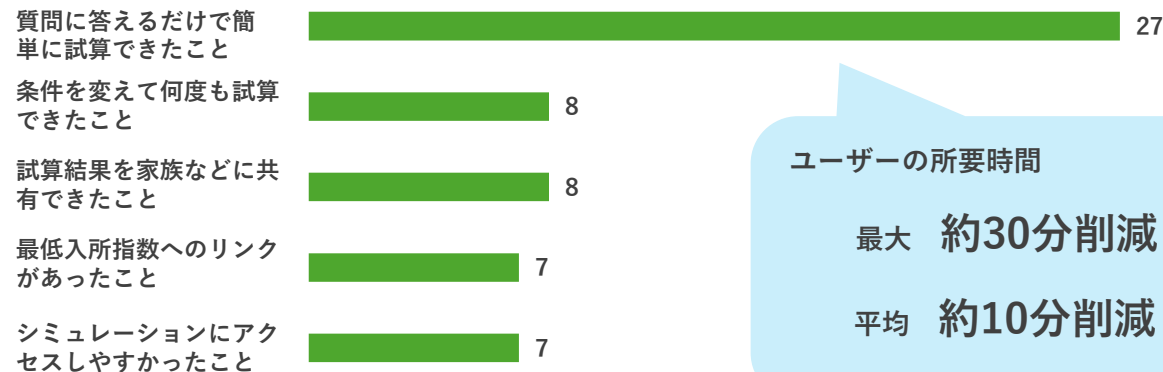


4.5



4.3

指数シミュレーションの良かった点



ユーザーの所要時間

最大 **約30分削減**

平均 **約10分削減**

効果測定結果 指数シミュレーション（連携自治体）

結果概要

調査対象

指数シミュレーションを実施している9連携自治体（有効回答9自治体）

調査期間：令和8年2月10日～2月25日

指数シミュレーション全体への満足度

■ 非常に満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 非常に不満

- 住民サービス視点、自治体が業務視点ともに、満足度平均4.2、3以上が100%以上の高評価

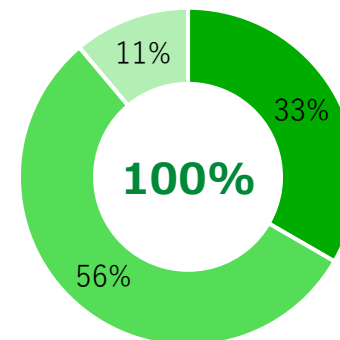


- 窓口受付でも指数シミュレーションを行ってから来庁される保護者が増加しており、指数の理解度が高まっている印象
- 保育所管課に問い合わせることなく指数が分かるため、保護者の利便性が向上していると考えられる



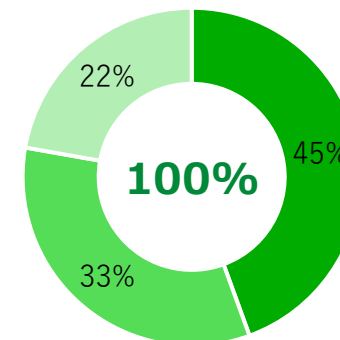
- 指数シミュレーションでは想定しきれないケースもあり、実際の利用調整で計算した指数と異なる場合もある

住民サービス視点



平均満足度 4.2

自治体業務視点



4.2

その他関連項目

- その他関連項目についても、満足度平均3.9以上、3以上が100%の高評価
- 一方で、事務負担の軽減があったと思う自治体は少なかった

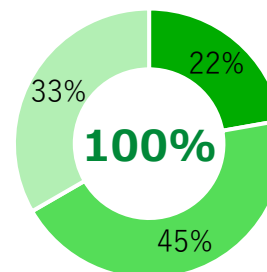


- 設問設定は、直感的に操作できる。一般的なwebフォーム作成ツールと同様の操作感であり非常に簡単



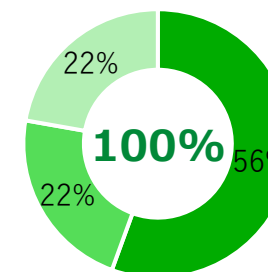
- リリース時期が入園申込ピーク後であったため、現時点では、問合せ等の事務負担軽減があったとは評価できない

設問設定



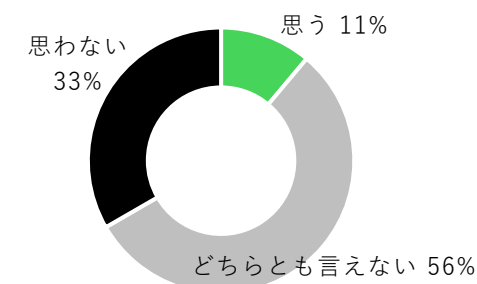
3.9

設問メンテナンス



4.3

事務負担の軽減があったと思うか



6

事業運営を通じての課題と対応及び
全国展開にあたっての課題と提言

事業運営を通じての課題と対応及び全国展開にあたっての課題と提言

事業運営を通じての課題	実施した対応	全国展開にあたっての提言
<p>【課題1 見学予約に関する運用フォローについて】 保育施設での見学予約の審査忘れや予約枠の設定忘れに対して、システムでの運用フォローが必要</p>	<p>○保育施設には、審査忘れや予約枠未設定時に自動でメール通知が行われるよう機能改善を行った ○自治体には、自治体対応が必要な予約の通知および未作成施設の抽出レポートを共有した</p>	<p>○保育施設や自治体での人的確認に依存した運用ではなく、対応漏れや設定漏れをシステムが自動で検知・通知する仕組みを導入し、システム主導による運用フォローを行う</p>
<p>【課題2 保育施設の参加・利用促進について】 利用保育ICTシステムがワンストップ対象外の施設の参画や見学予約機能を利用しない施設も本取組を活用してもらえようような検討が必要</p>	<p>○保育ICTの指定要件を緩和し、ワンストップ対象外のシステムを利用している場合でも、PJに参画可能とした ○見学予約機能を利用しない保育施設にも、ポータルサイト上の施設情報を編集可能とした</p>	<p>○見学予約の新着通知等はメール等でも受信可能とし、利用するシステムに制約を設けない ○見学予約機能を利用しない施設も付加情報を含めた施設情報を編集できるようにするとともに、独自の見学予約システムへの導線を提供できるようにする</p>
<p>【課題3 利用者接点強化と広報対応】 期間と接点が限られた保活利用者に対しては各自治体と保育施設が主要な接点であるため、Webサイト各所への導線設置、公式アカウントでの定期的な発信等が重要</p>	<p>○自治体や保育施設に、保活ワンストップサービスへの導線を設置を依頼した ○自治体の公式アカウント等も使った住民への周知を行った</p>	<p>○継続的な周知として、自治体の保育関連ページや保育施設のWebサイトへの導線設置を行う ○単発的な発信ではなく、保活者の利用時期等も踏まえた定期的かつ効果的な発信を行う</p>
<p>【課題4 施設情報のシステム間統合について】 ここdeサーチ・保活情報連携基盤・民間保活システムとの間で、施設情報の管理・運用が煩雑になった</p>	<p>○保育施設への意向調査を行い、旧事業所番号に紐づく情報の閲覧希望があった場合には、それらを閲覧可能とできるよう対応した ○園の新設・廃園や保活ワンストップ対象への切替を集約し、民間保活システム事業者に向けて事前周知を徹底した</p>	<p>○事業所番号の付番を運営実態に合わせて行うこととし、事業者の変更等の場合でも、同一事業所番号のまま施設基本情報を更新するに留める ○保活情報連携基盤と民間保活システムとの間で、自動的にマスタ連携が可能な構成に移行する</p>
<p>【課題5 指数シミュレーションシステムについて】 保護者の操作しやすさ・利用自治体の設定のしやすさを考慮したシステムの構築が必要</p>	<p>○「就労」「傷病」等の共通分類ではなく、「質問」「回答」の複数設定により指数計算を行うマスタ構成とした ○個別要件対応を極力抑え、案内文表示等で対処した ○最低指数の公開を要件とし、指数計算終了時に前年度の入所最低指数一覧へのリンクを設けた</p>	<p>○「質問」「回答」の簡素なマスタ設定による指数算定・自治体個別の要件への対応を排した構成を踏襲し、自治体が設定しやすいシステムとする ○指数シミュレーションの結果表示から、各自治体が公開する前年度の入所最低指数一覧への導線提供を維持する</p>
<p>【課題6 オンライン相談について】 継続して相談したい保護者、自治体職員側でさらに手厚く支援が必要と判断した場合の導線・情報の一元管理への考慮が必要</p>	<p>○自治体職員向け相談予約管理機能に対し、相談予約情報レコード毎に任意文章が記載可能なメモ欄を設けた</p>	<p>○相談予約情報レコード間の紐づけを機能として設け、自治体職員が相談履歴が追えるようにする ○保護者に対し「前回の相談から継続して相談予約を行う」等の導線を設け、継続相談しやすい状況にする</p>

課題1 見学予約に関する運用フォローについて

保育施設での見学予約の審査忘れや予約枠の設定忘れに対して、システムでの運用フォローが必要

事業運営を通じての課題

- ① 保育施設での見学予約の審査忘れや予約枠の設定忘れの発生
 - ・ 保育施設が見学予約申請を検知できるタイミングは、見学予約新着時の通知1回のみとなっている
当該通知を見落としした場合、保育施設がシステムにログインするしか承認待ちの予約に気付くことができないため、審査忘れが発生した
 - ・ 予約枠は、毎月10日までに2ヶ月先の月末までの予約枠を設定することを運用ルールとし、毎月システム上でメッセージを掲載しているが、システムにログインしなければメッセージに気付くことができず、予約枠の設定忘れが発生した
- ② 自治体が保育施設の運用状況を十分に把握できていない
 - ・ 自治体には保育施設の運用状況を把握し、予約が1日以上滞っている場合や予約枠の設定忘れが発生している場合、個別に保育施設へ連絡することを運用ルールとしているが、自治体がシステム上で注意すべき予約や施設を把握することが難しく、個別連絡が滞っていた

実施した対応

- ① 審査忘れや予約枠の設定忘れが発生しているときに、自動でメール通知が行われるよう、機能改善を行った
 - 審査忘れ：毎日16時時点で、申請から24時間以上が経過、かつ、見学実施が翌日の承認待ち予約がある場合にメール配信
 - 予約枠の設定忘れ：毎月11日9時時点で、翌月以降の予約枠が作成されていない場合にメール配信
- ② 自治体による対応が必要な予約があるときに該当の保育施設をお知らせするメール通知を行うようにしたほか、予約枠が未作成の施設を抽出するレポートを作成し、自治体へ共有した
 - 自治体による対応が必要な予約：見学まで3日以内、または、申請から1日以上経過している予約

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたっては同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 保育施設や自治体での人的確認に依存した運用ではなく、対応漏れや設定漏れをシステムが自動で検知・通知する仕組みを導入し、システム主導による運用フォローを行う

課題2 保育施設の参加・利用促進について

利用保育ICTシステムがワンストップ対象外の施設でも参画を可能に

既に独自の見学予約システムを提供する施設等、見学予約機能を利用しない施設に対しても本取組を活用してもらえるような検討が必要

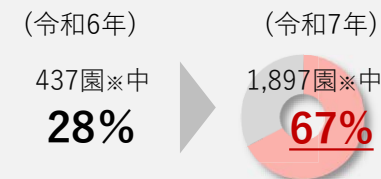
事業運営を通じての課題

- ① 令和6年度先行3自治体のカバレッジが低い
 - ・令和6年度、利用保育ICTシステムがワンストップ対象の指定システムであることを要件としたために、PJに参画できない施設があった（令和6年度先行3自治体は、本事業の対象となる施設種別437園のうち123園が参画、カバレッジは約28%）
- ② 独自で見学予約のシステムを提供している施設が、ポータルサイトからの見学予約の導線を提供できない
 - ・私立園を中心に、独自の見学予約システムを既に提供している施設から、ポータルサイトへの掲載及び情報編集は要望するものの、見学予約システムは独自運用を継続したいというニーズがあった

実施した対応

- ① 保育ICTシステムの指定要件を緩和し、ワンストップ対象外のシステムを利用している場合でも、PJに参画可能とした
 - 保育ICTシステムがワンストップ対象外である施設は、見学予約の到着通知等をメールにて受信する形式に
 - 令和7年度全自治体のカバレッジでは、対象となる1,897園のうち1,276園が参画、カバレッジは約67%となった
- ② 見学予約機能を利用しない保育施設にも、ポータルサイト上の施設情報を編集可能とした
 - 独自の見学予約システムへの導線設置までは至らず

対象自治体における保育園参加率



※参加自治体における本事業対象種別の保育園数

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたって同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 見学予約の到着通知等は、保育ICTシステム以外にメール等でも受信可能とし、利用するシステムに制約を設けない
- 見学予約機能を利用しない保育施設に対しても、付加情報を含めたポータルサイト上の施設情報を編集できる方法を提供する
- 保育施設が提供する独自の見学予約システムへの導線をポータルサイトから提供できるようにする

課題3 利用者接点強化と広報対応

期間と接点が限られた保活利用者に対しては各自治体と保育施設が主要な接点であるため、Webサイト各所への導線設置、公式アカウントでの定期的な発信等が重要

事業運営を通じての課題

- 一度きりの利用という特性による保活ワンストップサービスの認知不足
 - ・多くの利用者が子育ての特定の時期に一度だけ利用する性質のサービスであり、情報収集などの活動をする期間も短いため、サービスの存在が伝わりにくい

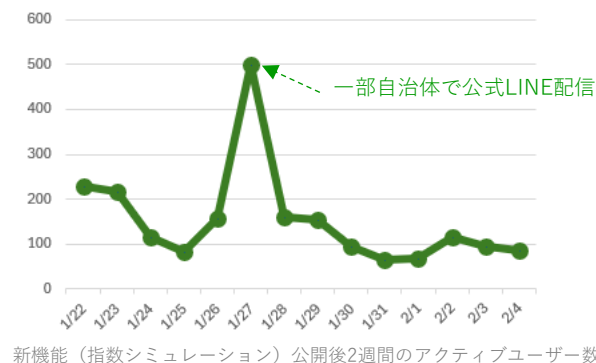
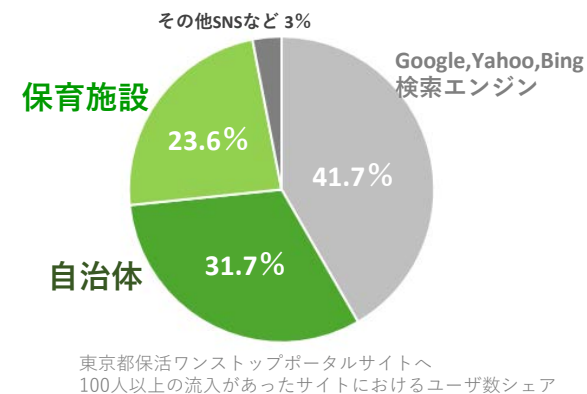
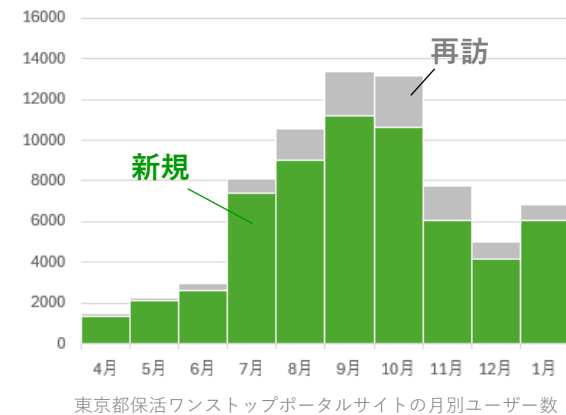
実施した対応

- 自治体や保育施設に、保活ワンストップサービスへの導線を設置を依頼した
 - 妊娠・出産・保育といった子育ての各段階で接点を持つ機会が多いことから各自治体に対して、また、参加保育施設のWebサイトからの流入も期待し、サービスへの導線設置を依頼した
 - 設置場所や方法は自治体や保育施設によって異なったものの、全体として明確な流入増加が確認され、認知向上の効果が認められた
- 自治体の公式アカウント等も使った住民への周知を行った
 - 一部の自治体ではXやLINEの公式アカウントでの発信があり、ユーザー数の増加が確認できた

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたっては同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 継続的な周知として、自治体の保育関連ページや保育施設のWebサイトへの導線設置を行う
- SNS等での周知の効果は一時的であることを前提に、単発的な発信ではなく、保活者の利用時期等も踏まえた定期的かつ効果的な発信を行う



課題4 施設情報のシステム間統合について

ここdeサーチ・保活情報連携基盤・民間保活システムとの間で、施設情報の管理・運用が煩雑である

事業運営を通じての課題

- ① **実体は同一であるが、事業者の変更等により事業所番号が新規に付番された保育施設では、旧事業所番号に紐づく施設・予約情報等を移行できない**
 - ・都基盤では、事業所番号を施設を特定する一意のキー情報として設定した都合、実体としては同じ施設として運営される施設であっても、運営事業者の変更等により、ここdeサーチ上で新規に事業所番号を付番された施設については、新規施設として取り扱う必要があった
 - 年度切替のタイミングで、施設情報マスタ上、旧事業所番号に紐づく施設は廃園・新事業所番号に紐づく施設は新園として取り扱うこととなり、施設情報に紐づくユーザー情報・予約情報等は引き継ぎができなかった
- ② **民間保活システム側での施設情報マスタの突合作業が煩雑**
 - ・都基盤運用では、民間保活システム側でも基盤との連携用の施設マスタを保有し、園の新設・廃園や保活ワンストップ対象切替のたびに事業所番号・施設名称を用いたマスタの突合作業を実施する必要があり、民間保活システム事業者側での作業負荷が高い状態だった

実施した対応

- ① **保育施設への意向調査を行い、旧事業所番号に紐づく情報の閲覧希望があった場合には、それらを閲覧可能とできるよう対応した**
 - ここdeサーチ所管局と調整し、一部施設については、特例的に事業所番号を新規付番せず、事業者番号を変更する対応を行った
 - 上記の対応ができない施設については、旧施設マスタに紐づくユーザーを一定期間有効にすることで対応した
- ② **園の新設・廃園や保活ワンストップ対象への切替を集約し、民間保活システム事業者に向けて事前周知を徹底した**
 - システム的に連携自動化を行うには至らず

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたっては同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 事業所番号の付番を運営実態に合わせて行うこととし、事業者の変更等の場合でも、同一事業所番号のまま施設基本情報を更新するに留める
- 園の新設・廃園等が生じて、保活情報連携基盤と民間保活システムとの間で、自動的にマスタ連携が可能な構成に移行する

課題5 指数シミュレーションシステムについて

保護者の操作しやすさ・利用自治体の設定のしやすさを考慮したシステムの構築が必要

事業運営を通じての課題

- **自治体ごとに指数基準表の表現・粒度が異なる**
 - ・大枠として、「保護者1の基本指数の計算」→「保護者2の基本指数の計算」→「調整指数の計算」という構造は、各自治体で共通ではあるものの、各基準項目については、表現・粒度が相違しており、共通的な算定項目をもってシミュレーションシステムを構築することは困難である
 - (例) 基本指数・就労要件 → 2自治体だけ抽出しても、前提となる分類・就労時間の合計単位などが相違し、同一の算定項目として表現することは困難
 - ・板橋区の基準例 : 月の合計就労時間で算定
 - ・八王子市の基準例 : 週の合計就労時間で算定 かつ 自営協力者等とその他の就労者で点数が相違する
- **自治体ごとに保護者1の基本指数・保護者2の基本指数・調整指数の最終集計方法が異なる**
 - (例) ・板橋区の基準例 : 保護者1の基本指数+保護者2の基本指数+調整指数の合計点を利用調整指数とする
 - ・八王子市の基準例 : 保護者1の基本指数+保護者2の基本指数+調整指数を合計し、上限20点・下限8点の範囲で利用調整指数とする
- **前年度の各施設の入所最低指数との比較が難しい**
 - ・最低指数が公開されていない、もしくは別ページ掲載のため、保護者に検索の負担が生じていた

実施した対応

- 「就労」「傷病」等の共通分類に値を設定する仕組とせず、「質問」「回答」を複数設定によって指数計算が実施できるマスタ構成とした
→ チャットボット形式のUIをとり、質問→回答の流れで得点を積算できる形式とした結果、自治体の設定しやすさの向上にもつながった
- 自治体個別の要件への対応を極力減らし、自治体固有の要件はテキストによる案内文表示などで対処した
- 最低指数の公開を要件とし、指数シミュレーションの結果表示時に、各自治体が公開する前年度の入所最低指数一覧へのリンクを設けた

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたっては同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 「質問」「回答」の簡素なマスタ設定による指数算定・自治体個別の要件への対応を配した構成を踏襲し、自治体が設定しやすいシステムとする
→ 加えて、各自治体の設定内容をサンプルとして共有することで、自治体における円滑な初期設定を可能とする
- 指数シミュレーションの結果表示から、各自治体が公開する前年度の入所最低指数一覧への導線提供を維持する
→ 前年度の入所最低指数が結果点以下であった施設をハイライトした状態で一覧表示できる機能なども検討できるとよい

課題6 オンライン相談について

継続して相談したい保護者、自治体職員側でさらに手厚く支援が必要と判断した場合の導線・情報の一元管理への考慮が必要

事業運営を通じての課題

- 単発での入所相談に関してオンラインで完結できるものの、継続相談の場合は新たにオンライン相談を予約する、もしくはシステム外で継続相談が必要
・相談内容の履歴はシステム上で保持しているため、改めて相談予約を実施する際、自治体職員は前回の履歴を参照しつつ、継続してのオンライン相談の実施は可能だが、システム設計として複数の相談予約情報の紐づけ、履歴管理を行う機能を設けていないため、情報の管理・紐づけは自治体職員の運用での工夫による

実施した対応

- 自治体職員向け相談予約管理機能に対し、相談予約情報レコード毎に任意文章が記載可能なメモ欄を設けた
→ メモ欄に「要継続相談、次回○月×日相談予約あり」「別途電話でのフォローが必要」等の記載により、継続対応であることを示すことが可能となった
→ システム外での継続相談対応を実施した際も、本欄にメモを残すことで、情報の一元管理を運用上行うことは可能となった

全国展開にあたっての課題と提言

全国展開にあたっても同様の課題が生じるため、以下の取組を提言する

- 相談予約情報レコード間の紐づけを機能として設け、自治体職員が相談履歴が追えるようにする
→ レコードへの属性情報として「継続相談必要」フラグや「親相談予約レコードID」を継続相談予約レコードに設ける等、相談情報レコード間の紐づけを行い、相談履歴を追いやすくすることで、より保護者に対して手厚い相談の実施が期待される
- 保護者に対し「前回の相談から継続して相談予約を行う」導線を設け、継続相談しやすい状況にする
→ 保護者向けの相談開始ページ上に、初回相談が終了した後「今回の内容から継続して相談する」ボタン等による導線を設け、継続相談予約申請ができるようにする（システム上は相談予約情報レコードの紐づけが行われ、相談履歴として情報管理される）